昭和二十一年七月三十日第三種郵便物認可　昭和二十二年九月一日印刷納本　昭和二十二年九月五日發行　毎月一回一日發行　第十五巻　第八號　通巻第百七十五號

EIGA NO TOMO

Magazine for American Movies ★ Sept. 1947

9

Rita Hayworth

映画之友

アメリカ映画専門紹介誌

Ginger Rogers (*U. I. Star*)
近作「素晴らしきドル」で有名なマディソン大統領の妻ドリーに扮したジンジヤー・ロジヤース。

EIGA NO TOMO

September 1947 *Vol. 15, No. 8*
Whole No. 175

Magazine for American Movies "EIGA NO TOMO" (Friend of Movies). Published Monthly by Eiga Sekaisha Ltd., Koichiro Tachibana, Publisher: Toyoshi Oguro, Executive Editor: Hiroshi Ogawa, Technical Editor: Head Office; No. 1, 2 chome, Nagatacho, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan: Marunouchi Office; Togyo Bldg., No. 7, 1 chome, Yurakucho, Chiyoda-ku, Tokyo:

Contents for September, 1947

21 New Arrivals! 新着21本……4

★

アメリカ映画雑感……佐多　稲子 11
アメリカ映画をみて……木下　惠介 13
アメリカ映画について……佐藤　敬 25

★

紐育封切映画御案内
三十四丁目の奇蹟……14
海岸の女……15
名誉を汚された女……15
シヤイアン……16
二人のキヤロール夫人……16
ようこそ赤ちやん……16

★

Portraits
Joan Fontaine……4
Rosalind Russell……5
Bing Crosby……17
Greer Garson……25

★

試寫室から
荒野の決闘……双葉十三郎 20
桃色の店……飯島　正 21
戀愛手帖……山本　恭子 21
我が道は遠けれど……清水　晶 22
町の人氣者……大黒東洋士 22
鐵腕ジム……飯田　心美 23

★

ハリウツド短波放送……田村　幸彦 12
This is Hollywood!……18
ハリウツドの掟……小森　和子 24

★

新着映画紹介
凡て此の世も天國も *All This and Heaven Too*……26
焰の女 *The Flame of New Orleans*……28
湖中の女 *Lady in the Lake*……29
アンナとシヤム王 *Anna and The King of Siam*……30
育ち行く年 *The Green Years*……32
初戀時代 *Miss Susie Slagle's*……34

★

社長　橘　弘一郎　　技術　小川　博
編集　大黒東洋士　　美術　直木　久蓉
　　　淀川　長治　　　　　木村　佳光

Information Please

皆様のお智慧をお借りいたします‥‥と申しますとお上品ですが、實は、これは皆様の映画常識のテストであります。そしてこんなテストをしながら、映画常識を廣くしようというのがこの Information Please の狙いであります。

question： 姓と名の頭文字が同じスターがいますか（例えば水戸光子が M. M であるように）、これ等のスターを５人以上擧げられますか？

answer： Claudette Colbert, Deanna Durbin, Greer Garson, Jenifer Jones, Maria Montez, Michele Morgan, Rosalind Russell, Ronald Reagan etc.

question： 皆様が10圓の觀覧料を拂つて映画を見る場合、この10圓のうち半分の５圓は入場税として收めている譯です。最近この10割の入場税を惡税として撤廢せよという運動が起つていますが、海の彼方のアメリカの映画ファンもこんな入場税を拂つているでしようか。拂つているとしたら、どれ位の負擔になつているでしようか？

answer： アメリカの映画入場税は大體２割程度です。アメリカ並みにすれば、現在皆様が拂つている10圓は６圓になる譯です。

question： 古くはシャーリー・テムプル、最近ではマーガレット・オブライエン、ペギー・アン・ガーナー‥‥この三人はいずれも名子役として知られていますが、テムプルが３歳で初めて映画に出た時、オブライエンとガーナーは幾つだつたでしようか？　またこの人が映画に初出演したのは幾歳の時でしようか？

answer： テムプルが1929年生れ（今年18才）であるのに對し、ガーナーが1932年生れ（15才）、オブライエンが1937年生れ（10才）ですから、テムプルが３才で映画にデヴユウした年（1932年）は、ガーナーは生れたばかり、オブライエンはまだ生れていません。なおガーナーは1938年６才で、オブライエンは1941年４才で初めて映画に出ています。

question： RKOラジオのRKOというのはなんの頭文字をとつたものか御存知ですか？

answer： RKOというのはラジオ・キース・オーフユームの頭文字をとつたものです。

question： アメリカ映画界最高の榮譽とされるアカデミー賞は何年前に制定されたものでしようか？

answer： 丁度１昔前の1927年に制定されています。

question： アカデミー賞受賞者にはオスカーと呼ばれる金メッキの裸像が贈られますが、この像がオスカーと呼ばれるいわれを御存知ですか？

answer： ルイズ・レイナーとともにアカデミー女優賞２回受賞の記録をもつているベティ・デヴイスが、それまで無名だつた黄金像にオスカー Oscar の愛稱を與えたと傳えられています。

question： 日本には現在1870余の映画館がありますが、映画の國アメリカには一體どのくらいの映画館があるでしようか？

answer： 46年度調査によると、アメリカ全國に 21,519 の映画館があることになつています。驚くべき數ではありませんか。

question： 終戰後から６月末まで、日本で封切られた新入荷アメリカ映画は何本あるでしようか？

answer： 終戰後から６月末までに58本の新入荷作品が封切られています。これを會社別にみると、W. B が９本、MGM、コロムビア、パラマウント、20世紀フオックス、ユニヴアーサルが各８本、RKO ラジオが５本、ユナイテッドが４本——ということになります。

question： アメリカでは目も覺めるような色彩映画が澤山製作されていながら、終戰後私達はまだ一本も新しい色彩映画に接しませんが、色彩映画は黒白映画に對してどんな比率で製作されているでしようか？

answer： 46 年度調査によると、黒白映画 408 に對し、色彩映画38の製作比率になつています。色彩映画は黒白映画の１割以下です。まだまだ黒白映画の天下ですが、大作は色彩映画として製作される傾向が強くなつてきています。

question： 色彩映画は黒白映画に較べて製作費が多くかゝるといわれていますが、本當のところどの程度にかゝるものでしようか？

answer： 色彩映画と黒白映画の製作費の相違は、現在では殆んど差がありませんが、プリント代は色彩映画の方が約４倍もかゝります。御參考までに最近製作された色彩映画の大作の製作費をお知らせしますと、「白晝の決闘」が 600 萬弗、「永遠のアムバー」が 500 萬弗かゝつています。普通平均 200 萬弗程度です。

question： 18卷の大作「アメリカ交響楽」の映寫時間は 189 分でしたが、映画創始以來最も映寫時間の長い映画は何んでしようか？

answer： 最も映寫時間の長かつた映画は「風と共に去りぬ」で、時間は 226 分です。この他最近の長尺映画に、171 分の「君去りし後」（コルベエル、テムプル、ジエニファ・ジョーンズ、ジヨセフ・コツトン共演）、168 分の「誰がために鐘は鳴る」、157 分の「バーナデツトの唄」154 分の「ウイルソン」（アレキサンダー・ノツクス、チャールス・コバーン主演）等があります。

Deanna Durbin

Rosalind Russell

Greer Garson

EIGA NO TOMO

Rosalind Russell

(RKO Radio Ster)

「世界の母」における**ロザリンド・ラツセル**の演技は高く評價されていゝ。この映画は1909年から現在にいたる迄のシスター・ケニーの氣高い傳記を描いたもので、彼女は娘役から老婦にかけて、至難な年齢の推移を立派な演技と巧緻なメークアツプで演じている。アカデミー女優賞の候補にのぼつたといわれるが、それは當然問題になつていゝ名演技である。

Joan Fontaine

(*Universal-International Star*)

待望の「ジェーン・エア」が近くロード・ショウとして封切られるが、この映画における**ジョーン・フオンテーン**は、「断崖」や「永遠の處女」とはまた變つた藝風で傑れた演技を見せている。平凡な女優という印象しか受けなかつた彼女の初期の出演映画を知つている者にとつては、彼女の今日の進境は正しく感嘆に價いするものがある。

A「**ラヴ・レター**」最も有望な新人ジェニファー・ジョーンズがはじめて紹介される45年度パラマウント映画。B「**神聖な結婚**」43年度二十世紀フォックス映画。C「**フイラデルフイア物語**」40年度MGM映画。

支那から九人の孤兒を連れて故國へ歸ろうとするアメリカ人の若い女教師が、船が沈沒して船長が行方不明になつた時、その老船長の妻だと云つて彼の邸へ乘込んで來て、老船長の孫に當る青年と會う。青年は彼女が嘘をついてる事を發見するが、そこへ死んだ筈の老船長が歸つて來て話はこんがらがる。最後に若い二人が結ばれる事は云う迄もない。

凸凹宝島騒動

Pardon My Sarong

トルー・ボードマン、ナット・ペリン、ジョン・グラント書卸しシナリオ。**アール・C・ケントン監督。バッド・アボット、ルウ・コステロ、ヴァージニア・ブルース主演。**(ユニヴァーサル映画)

例の凸凹二人組が、今度は南海の孤島に漂着して、土人の寶物を盗もうとするギャングと戰い、コロテスは、酋長の娘と戀に陥ると云ふ喜劇。

ゾラの生活

The Life of Emile Zola

ハインツ・ヘラルド、ゲザ・ヘルクツェック原作、ノーマン・ライリー・レイン、ハインツ・ヘラルド、ゲザ・ヘルクェック協同脚色、**ウィリアム・ディーターレ監督。ポール・ムニ主演、**ジョゼフ・シルドクラウト、ゲイル・ソンダーガード助演。(ウォーナー・ブラザース映画)

フランスの文豪ゾラの傳記だが、かの有名なドレイフス事件が織込まれ、自由の爲に闘つたゾラの一生が力強く描かれている。一九三七年度のアカデミー作品賞と脚色

21 New Arrivals!

剃刀の刃
The Razor's Edge

本誌三月號の紐育封切映画欄に紹介してある。**サマセット・モーム**の原作を**エドマンド・グールディング**が監督し、**タイロン・パワー**、**ジーン・ティアニー**、**ジョン・ペイン**、**アン・バクスター**、ハーバート・マーシャル、クリフトン・ウェッブの主演する超大作。（二十世紀フォックス映画）

オペレッタの王様
The Great Victor Herbert

アンドルウ・L・ストーンの製作監督した音樂映画で、アメリカの喜歌劇王ヴィクター・ハーバートの名曲を全篇に配し、ハーバートの舞臺に立つた若い男女の俳優の戀愛を主題としたロマンティックな作品である。ブロードウェイからハリウッド入りをした**メエリー・マーティン**が初めて我國に紹介されるほか、**アラン・ジョーンズ**、スザンナ・フォスター、ウォルター・コノリーが助演する。（パラマウント映画）

モロッコへの路
Road to Morocco

ビング・クロスビー、**ボップ・ホープ**、**ドロシー・ラムアー**の三人が主演する喜劇で、**デヴィッド・バトラー**が監督した。フランク・バトラーとドン・ハートマンの書卸しシナリオである。難船した二人の密航者がモロッコに漂着し、美しい女酋長と逢い、色々滑稽な事件が展開される。パラマウントの「路」シリーズは五本作られたが我國ではこれが最初に紹介される譯である。（パラマウント映画）

揉め事だらけ（原名）
Nothing But Trouble

サム・テイラーの監督した**ローレル、ハーデー**の極樂コンビが主演する喜劇である。（M・G・M映画）

焔の女
The Flame of New Orleans

ノーマン・クラスナ原作及脚色**ルネ・クレール監督**。**マレーネ・ディートリヒ主演**、ブルース・キャボット、ローランド・ヤング主演。（ユニヴァーサル映画）

一八四一年のニュー・オリーンズを背景としたロマンティックな物語で、ルネ・クレールの渡米第一回作品。詳しくは本號新着映画紹介欄を參照されたい。

海を渡る唄
The Amazing Mrs. Holliday

ソンヤ・レヴィーン原作、フランク・ライアン、ジョン・ジャコビー脚色、**ブルース・マニング製作及監督**。**ディアナ・ダービン主演**、エドモンド・オブライエン、バリー・フィッツヂェラルド助演。（ユニヴァーサル映画）。

ン脚色、ジャック・コンウェイ監督。クラーク・ゲイブル、クローデット・コルベール、スペンサー・トレイシー、ヘディー・ラマー主演。(MGM映画)

一九一九年テキサスに石油が發見された頃の物語で、男の友情と、妻の献身と、美女の誘惑とを主題とした娯樂映画。

ギャグニーの新聞記者

Johnny Come Lately

ルイズ・ブロムフィールド原作ジョン・ヴァン・ドルーテン脚色**ウィリアム・K・ハワード監督。ジエームズ・キャグニー主演、**マージョリー・メイン、グレース・ジョージ助演。(ユイテッド・アーチスツ映画)

一九〇〇年の初め頃田舎町へ流れて來た男が女新聞社長に救われた恩義に感じて、その新聞社の爲に働き、社を昔通りに戻した上で町を去つて行く物語。

ラヴ・レター

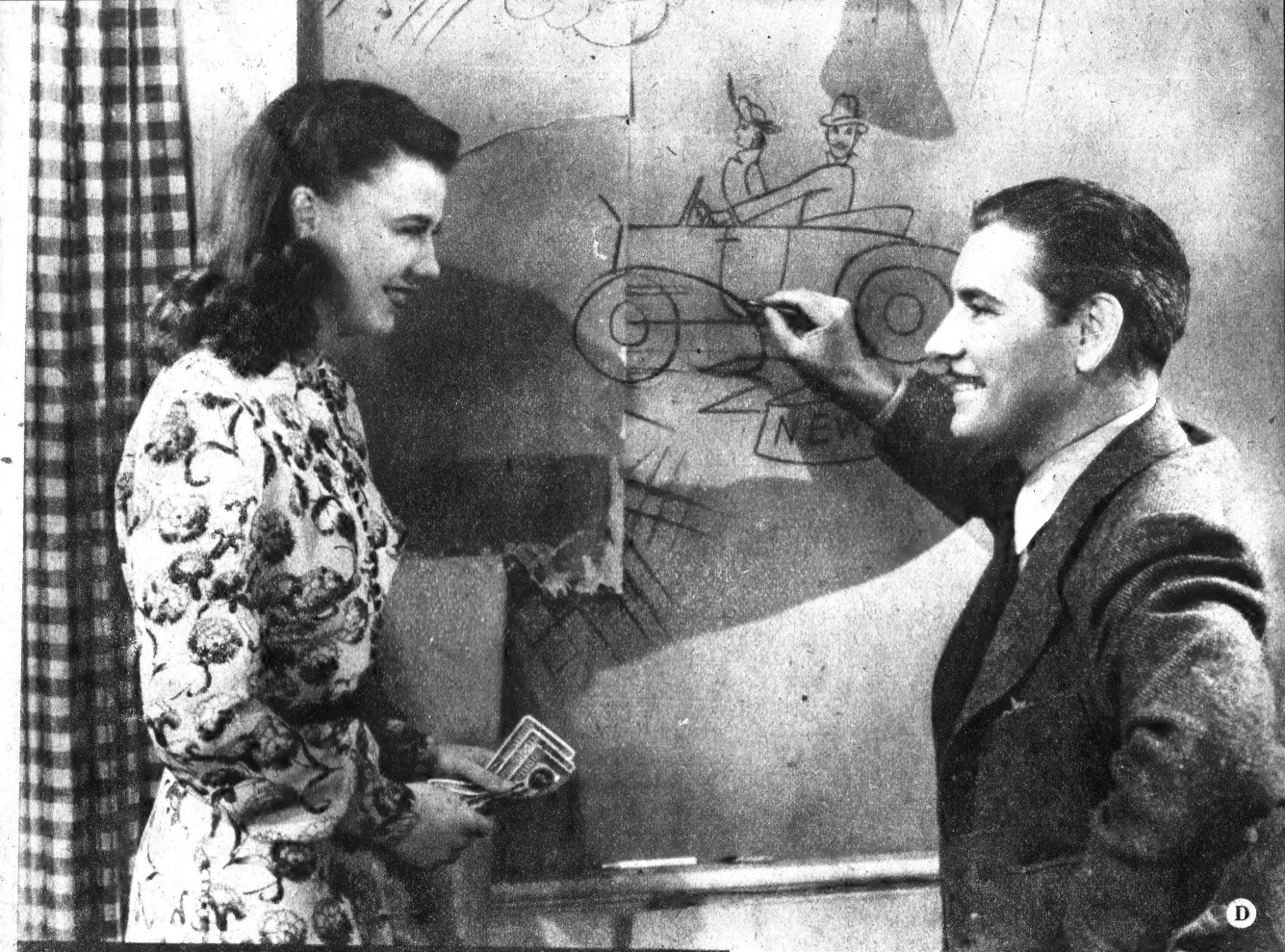
Love Letters

ハル・ウォーリス製作。クリス・マッシー原作。エイン・ランド脚色、**ウィリアム・ディーターレ監督。ジェニファー・ジョーンズ、ジョゼフ・コットン主演。**(パラマウント映画)

戰友の爲にラヴ・レターの代筆をしてやつた兵隊が、歸國して見ると對手の娘と結婚した戰友が殺され、新妻が犯人として裁かれているのを發見すると云ふ滑り出しで、ロマンスとミステリーを盛つた娯樂篇。

ニユウ・ムーン

New Moon

ジャック・デヴァル、ロバート

D「**幸運なパートナー**」ルイズ・マイルストン監督の喜劇という所に大きな興味がある。40年度RKO映画。E「**ニユウ・ムーン**」40年度MGM映画。F「**海を渡る唄**」43年度ユニヴアーサル映画。

賞とを得た秀作である。

フィラデルフィア物語

The Philadelphia Story

フィリップ・バリー原作舞臺劇よりドナルド・オグデン・ステュアート脚色、**ジョージ・キューカー監督。カスリン・ヘプバーン、ケイリー・グラント、ジェームズ・スチュアート主演**（M・G・M映画）

フィラデルフィアの社交界を背景としたソフィスティケイテッドコメディー。一度離婚した夫婦が再び結ばれるまでの手の混んだ事件を大人の娯樂として作つた絶好の喜劇である。この映画でジェームス・ステユアートは一九四〇年度アカデミー男優演技賞を獲得している。

湖中の女

Lady in the Lake

レイモンド・チャンドラー原作。スティーヴ・フィッシャー脚色**ロバート・モンゴメリー監督及主演**。オードリー・トッター、ロイド・ノーラン共演。（M・G・M映画）

本誌三月號の「紐育封切映画御案内」欄に紹介した一人稱映画が早くも到着した。詳しくは本號新着映画紹介欄を參照されたい。

俄か成金

Boom Town

ジェームズ・エドワード・グラント原作。ジョン・リー・メイヒ

（ユナイテッド・アーチスツ映画）

一八五〇年代のコルシカを背景とし、兩親の仇を討つ双生兒の兄弟の活躍を描いた劍劇である。

青空に踊る
The Sky's the Limit

フランク・フェントン、リン・ルート脚色、**エドワード・H・グリフィス監督。フレッド・アステア、ジョーン・レスリー主演。**（RKOラジオ映画）

飛行家のフレッドと、女カメラマンのジョーンとのロマンスを主題とした唄と踊りの豪華版で、「アメリカ交響樂」のジョーン・レスリーとアステアとのコンビには期待が持てる。

浮世はなれて
Holy Matrimony

アーノルド・ベネット原作。ナナリー・ジョンスン脚色、**ジョン・M・スタール監督。**モンティー・ウーリイ、グレイシー・フィールズ主演。（廿世紀フォックス映画）

世間嫌いの有名な画家が、自分の待僕が死んだ時、彼の身替りになつたことから、色々滑稽な事件が起る。

アメリカ映画雜感

★

佐多稲子

ほんとうのところ私は、この頃見たアメリカ映画にいつも何しらのもの足りなさを覚えている。數多く見ている方ではないから、私の不滿をもつて、アメリカ映画の全般を言うことは出來ないとはおもうが、とにかく私はとの頃ずうつと、始終求めるおもいでアメリカ映画を探つている。探つているとは言つても大體の見當をつけて、喰わずぎらいに、見にゆかないのも多いのだが。

傾向をいえば、この頃のアメリカ映画には、ずい分いろ〱なものがある。偉大な人物を取り上げたものを含めて、映画の主題をヒューマニズムにおいたのは終戰後入つてきたアメリカ映画にずい分あつた。これはアメリカの最近の大きな傾向かとおもわせ、ひいてはアメリカの考え方というものもそこに見るようだつた。

この頃ではスリラー映画というのがある。スリラー映画は常に犯罪がからませられるらしい。「ガス燈」などはこれに心理を利用しているのが新しいものかとおもうが、このやうな心理の利用は、ツルゲーネフの「虐げられし人々」などでは、人間の性格にちゃんと結びついていてもつと深い。それはそれとしてスリラー的興味とはどういうものなのだろう。ひと頃讀まれた「レベッカ」なども事件の經過だけが興味的に追われているので、事件のふくむ意味は見過ごされていた。

「再會」などにあつたアメリカの人々の、人生の處理はアメリカらしさをうかゞわせておもしろい。

女が政治に關係すると、戀愛が對立して扱われ、女の立場は戀愛にあるとされているが、片方には「世界の母」などゝいうのもある。少くとも女にとつての仕事と結婚とはアメリカでも大きな課題らしい。が、その規模は日本のよりは廣い。この女の生活の規模の廣さが、アメリカ映画のひとつの大きな魅力を作り出すものになつている。

（筆者・作家）

カット・イングリッド・バーグマン

脱出
To Have and Have Not

アーネスト・ヘミングウェイ原作。ジュールス・ファースマン、ウイリアム・フォークナー脚色、**ハワード・ホークス監督。ハムフリー・ボガート、ローレン・バコール主演。**（ウオーナー・ブラザース映画）

フランスが獨逸に占領された後のマーティニク島を背景とした活劇で、「カサブランカ」を想わせる様な内容の映画である。尚この映画ではじめて新星ローレン・バコールが紹介される。彼女は御承知のようにボガートの夫人である。

踊る結婚式
You'll Never Get Rich

マイケル・フェシア、アーネスト・パガノ脚色、**シドニー・ランフィールド監督。フレッド・アステア、リタ・ヘイウォース主演。**（コロムビア映画。

「晴れて今宵は」の姉妹篇とも云うべき音楽舞踊映画で、コール・ポーターが全篇の音樂を作曲している。

幸運なパートナー
Lucky Partners

ルイズ・マイルストーン監督。ロナルド・コールマン、ジンジャー・ロジャース主演。（RKOラジオ映画）

素晴らしい監督、素晴らしいキャストによる珍らしい喜劇として期待出來る。

G「俄か成金」この豪華な顔觸れが最大魅力となつている40年度MGM映画。H「ゾラの生活」37年度アカデミー作品賞を得たWB映画。I「ギャグニーの新聞記者」43年度WB映画。

アーサー脚色、**ロバート・Z・レオナード監督。ジャネット・マクドナルド、ネルスン・エディー主演。**（M・G・M映画）

嘗てローレンス・ティベットとグレース・ムーア主演で作られた事のあるオペレッタの再映画化。一七八〇年代のニユウ・オリーンズを背景としたロマンティックな音樂映画である。

各々に彼自身の物を

To Each His Own

チャールス・ブラッケト、ジャック・テリー脚色、**ミッチェル・ライゼン監督、オリヴィア・デハヴィランド主演。**ジョン・ランド助演。（ハラマウント映画）

第一次世界大戰の時英國の飛行家と戀に陷ち男の子を儲けた母が夫が戰死した爲に正式の結婚が出來ず、生れた子供を手離すに至るが、第二次大戰の起つた時、初めて母子の名乘りが出來たと云ふ物語で、主演者のハヴィランドは、この映画で昨年度のアカデミー女優演技賞を與えられた

コルシカの兄弟

The Corsicon Brothers

アレキサンダー・デューマ原作。ジョージ・ブルース脚色、**グレゴリー・ラトフ監督。ダグラス・フェアバンクス・ジュニアー主演。**ルス・ウオーリック、アキム・タミロフ助演

昨年第一四半期が四千六百三十九万弗であつたのに對し、本年は四千八百九十四万弗で、三社の增加率は八パーセントである。ユナイテッド・アーチスツを除く七社の純益を昨年と比較すると前頁の表の如くである。

揉めるU・I 製作者續々退社

ユニヴァーサル・インタナショナルから作品を提供していたジャック・スカボールとブルース・マニングのスカボール・マニング・プロダクションは六月下旬U・Iとの契約を解除した。今後同プロがどこから作品を發賣するかは未定だが、U・A、コロンビア、RKOの三社が有力視されている。

又エドナ・ファーバー原作の「偉大な息子」の映畫化を企畫していたマイケル・トッド・プロもU・Iを去つたし、ウォルター・ウェインジャーも現在製作中の「親根」に續いて、もう一本作った後退社すると聲明した。ジョーン・ベネット、**ワリッツ・ラング**ウォルター・ウェインジャーのダイアナ・プロダクションも「ウィンチェスター七三」で契約が切れるので、その後はウェインジャー・プロと共にU・Aに移る模様である。

これで舊ユニヴァーサル新代からのプロダクションはマーク・ヘリンジャー・プロだけとなつたがヘリンジャーも退社する意志を示しているので、U・I社の獨立製作者は、フェアバンクス・プロ、ナナリー・ジョンスンのインター・ジョン・プロ、**サム・ウッド**、ヴィリアム・キャメロン・メンジースのインターウッド・プロ、ガース・カニンとマイケル・カニン・プロ、**ジョーン・フォンテーン**・ウィリアム・ドージアーのラムパート・プロ及びロバート・モンゴメリー・プロだけになる樣子である。

製作者ジョーン・フォンテーン・第一回作品決定

ジョーン・フォンテーンが夫君のウィリアム・ドージアーと共同で設立したラムパート・プロダクションの第一回作品はステファン・ツワイク原作の「**未知の女からの手紙**」"Letters from an Unknown Woman"と決定し、フェアバンクスの「流浪の身」を監督中のマックス・オーファルスが監督として契約された。

八月下旬、製作開始の了定である。

名作「望郷」音樂映畫になる

ジュリアン・デュヴィヴィエの名作「**望郷**」は「アルジエール」の題名でシャルル・ボアイエとヘディー・ラマーの主演で嘗て再映畫化された事があるが、今度はユニヴァーサル・インタナショナル社が、音樂映畫として製作する事になり、トニー・マーティンとイヴォンヌ・デカルロが主役で、題名は「**キャスバ**」"Casbah"と決定し「會議は踊る」の**エリック・シャレル**が監督に契約され、ハロルド・アーレンが作曲を擔當し、ウィリアム・バワースが脚本の執筆中である。

これはトニー・マーティンがナット・ゴールドストーンと設立したマーストン・プロの第一回作品である。

アメリカ最初の國際映畫祭

ヨーロッパではカンヌ、ブラッセル、ヴェニス等で國際映畫展が開かれ、世界各國からの映畫が出品されるが、アメリカでは從來この種の催しがなかつた。今度アメリカ映畫協會と映畫藝術科學アカデミーの共同主催で毎年夏ハリウッドで國際映畫祭を開く事が決定し、第一回は明年の夏開かれる筈である。

アメリカ映画をみて

木下惠介

アメリカ映画を見た後で思うことは、どうしても我々とは人間の育ちかたが違うということです。

たとえば日本人だと戀人に結婚を申込む場合、まず自分の周圍を振り返つてみなければなりませんけど、アメリカ人は、自分の心と相手の心だけに訊いてみればいゝのです。そしてアメリカ人は戀を打明けるのに、相手の眼を見て言いたいだけをはつきり言います。それが日本人だとはにかんだりテレたり、おずおずしたり、大抵は下を見るかそっぽを向いて言います。しかも愛しているとは言えないで、「好き――」という言葉しか使いません。「愛している」と言えるのはそれから後のことで、一事が萬事、何時でもはつきりした自分以外の何かに氣をくばつているような言葉でしか生活していないのです。それも思い入れがあつてからやつと言葉に出るのですけどアメリカ人は言い乍ら思い入れがあるのです。日本映画のテンポの遅いのは、こんなところの育ちの違いが大きな全ての原因の根本になつていて、アメリカ映画の面白さ、愉しさも實はそうした個性や感情や動作が、非常にのびのびとしていることが根本となつているからだと思います。自由でのびのびしている人間からは、自由にのびのびした世界がひろげられますけど、何事も内輪にこまかく、つゝましやかさとか、奥ゆかしさとか、そんな育ちの我々にはなかなか自由奔放な開放された世界を映画の中にひろげられないのです。

個人から形成されているアメリカの社會に育つた人間と、日本に育つた人間と、家族から形成されている、そして近代的な文學や音樂の藝術的な敎養を身につけていない日本人と、この相違はアメリカ映画を見た後でつくづく考えさせられます。アメリカ映画の裏街の音樂は、日本ならさしずめ浪花節かお江戸趣味の粋なところでしよう。我々は聖書の一節も詩の一章も、テレ臭くて口に言えない育ちなのです。（筆者・松竹映画演出者）

カツト――ジョン・ベイン、グロリア・デヘヴン夫妻と彼等の可愛いベビーちゃん

ジョン・フォード アイルランドで製作

ジョン・フォード、**モーリン・オハラ**、ヴィクター・マクラグレン、ジョン・ウェインをスターとして、明年アイルランドでモーリス・ウォルシュ原作の「**靜かな男**」"The Quiet Man"を監督すると發表した。これは一九三三年サタデイ・イヴニング・ポーストに發表された短篇で、アメリカからアイルランドに歸つた男が、町の亂暴者を懲らす物語である。

ジェームズ・スチュアート 紐育の舞臺へ

ジェームズ・スチュアートはロバート・リスキン・プロ「魔法の町」の撮直し場面に十三日間働いた後、七月十四日から紐育で當つて居る「**ハーヴェイ**」の主役を六週間勤める契約をした。"ハーヴェイ"はフランク・フェイの主演で既に百三十八週目の長期興行をして居るヒットである。この喜劇の映畫化權はユニヴァーサル・インタナショナルが百万弗に近い權利金を支拂う約束で獲得したが、ジェームズ・スチュアートの主演で來年度の大作として製作される模樣である。

Short-wave Broadcast From Hollywood

ハリウッド短波放送

「凱旋門」その他 M・G・Mが配給か

エンタプライズ社はユナイテッド・アーチスツ社から四七年中に六本の作品を發賣する予定であつたが、都合によつて五本に減少した。然し明年一年間には七本乃至八本を予定している。同社のU・A社との契約は一年間限りで、且つアメリカ國内に限られ、國外はM・G・Mの外國部が配給を引受けているが、明年一月一日以降はメトロがアメリカ國内の配給權も獲得すべく折衝中なので、或いはこれが實現するかも判らない。

四七年度の五本は次の通りである。

「ラムロッド」（ジョーエル・マックリー主演）「他の戀」（バーバラ・スタンウィック主演）「身も魂も」（ジョン・ガーフィールド、リリ・パーマー主演）「凱旋門」（イングリッド・バーグマン、シャルル・ボアイエ主演）「彼等はこの道を通つた」（ジョーエル・マックリー主演）

四八年度の予定作品は、

「愛の追求」"Pursuit of Love" ナンシー・ミットフォード原作

「誇るべき運命」"Proud Destiny" ルイズ・マイルストン製作及監督。

「ワイルド・カレンダー」"Wild Calender" リビー・ブロック監督。ジンジャー・ロジース主演。

「ユージン・アラムの情熱」"The Passion of Eugene Aram" ブルワー・リットン原作。

「カイロ事件」"Cairo Incident" ラディスラス・フォドールの書卸し脚本。

「赤と黒」"The Red and the Black" スタンダール原作

ジョーエル・マックリー主演の西部劇一本。

バーグマン、ボワイエの共演する問題作「凱旋門」の一場面。

二十世紀フオックス コルダ作品の配給權獲得

アレキサンダー・コルダの製作する英米映画のアメリカ國内及び南米、南アフリカ、オーストラリア、ニュージランドに於ける配給權を、向う四ケ年間二十世紀フォックス社が獲得した。コルダ作品でこの契約により最初にフォックスが配給するのは、テクニカラーで撮影されたコルダ自身の監督作品、オスカー・ワイルド原作の「理想の夫」"An Ideal Husband"（ポーレット・ゴダード主演）で、本年九月發賣の予定である。

ジュリアン・デュヴィヴィエ監督、トルストイ原作「アンナ・カレニーナ」（ヴィヴィアン・リー、ラルフ・リチャードスン主演）がこれに續き、その他ケイリー・グラント主演の映画一本、デイヴィッド・ナイヴン主演「美しきチャーリー王子」"Bonnie Prince Charlie"、オルツィー男爵夫人原作「我れは報いん」"I Will Repay"（レックス・ハリスン主演）等最初の二年間に六本が予定されて居る。アーサー・ランクの製作する英國映画がユニヴァーサルとイーグル・ライオンの二社からアメリカに配給されている際、この新しい契約は英國映画のアメリカ進出に更に拍車をかけるものと云わなければならない。

三ケ月の純益 四千萬弗余

一九四六年はアメリカ映画界初まつて以來最も好調に惠まれた年であつたが、今年は多少不景氣になつたと云われていた。然し三月末日迄の第一四半期の結果が發表されたのを見ると、昨年同期の純益合計四千万弗に比して、三千八百九十万弗で、僅か二パーセント半の減少にすぎない。然もこの利益の減少は製作費の膨張によるもので、收入は決して減少していない。メトロは四六年上半期の總收入五千五百三十三万弗に比し、本年上半期は五千六百六十五万弗、ワーナー・ブラザースは昨年第一四半期の三千七百八十九万弗に比し本年は四千二百六十三万弗、フォックスは

會社	期間	四七年度純益	四六年度純益
コロンビア	三月廿九日迄の卅九週	四・六四〇・〇〇〇弗	四・二七五・〇〇〇弗
メトロ	三月十八日迄の廿八週	八・五九六・七七九	八・九五二・〇五六
パラマウント	四月五日迄の十三週	九・五二二・〇〇〇	一一・五八七・〇〇〇
RKO	三月廿九日迄の十三週	二・二七〇・六八三	三・六七五・九五四
フオツクス	三月廿九日迄の十三週	五・八九七・六〇三	六・二四一・九五三
ユニヴアーサル	二月一日迄の十三週	七五六・五四三	九三四・五〇六
ワーナー	十一月卅日迄の十三週	七・二〇三・〇〇〇	四・三〇〇・〇〇〇

ば、全世界何百萬の子供たちに失望を與え、それが次の選擧の時自分に不利になるだろうと云う心配があるからである。

こうした珍らしいテーマをもつて、近來稀れな優れた喜劇が展げられる。「常識が信じるなと教える物を信じることが信仰である」と作者は映画のなかで云つているが、これは信仰に捧げられた喜劇なのである。

撮影監督は**チャールス・クラーク**と**ロイド・アハーン**。紐育の實景がリアリズムを助けている。上映時間は一時間三十六分。六月四日から紐育のロキシー劇場で封切が行われている。

★★★★★★★★★★★★

RKO映画

海岸の女

巨匠ジャン・ルノアールの新作！

The Woman on the Beach

★★★★★★★★★★★★

「南部の人」を作つた**ジャン・ルノアール**が、久し振りに監督した作品である。原作は**ミッチエル・ウイルスン**の小説で、これを**マイケル・ホーガン**が潤色し、**フランク・デイヴイス**と**ジャン・ルノアール**が共同で脚色したもので、非常に獨創的な、且つ程度の高い映画であると云われる。

内容は三角關係ものゝ一變形であるが、ルノアールの扱い方が、物語そのものゝ發展よりも、人物の心理の動きに主點を置いてあるので、漠然と見ると表面的には論理の混亂と思われる印象を與えられるかも知れないが、掘り下げて味うと、映画的要素がルノアールによつて、緊張した感情にまで融合されていると評されている。

ある海岸の人里離れた小屋に盲目の画家テッド（**チャールス・ビックフォード**）が、妻のペギー（**ジョーン・ベネット**）と住んでいる。二人が結婚して間もない頃、ペギーの過失からテッドが失明したので、それ以來ペギーは、自分の罪を氣に病んで、夫に甲斐々々しく仕えているが、失明してからのテッドは、疑い深く嫉妬深く、ペギーの生活は日毎に不幸になつて行く。そこえ、海岸警備隊のスコット（**ロバート・ライアン**）と云う若い將校が現われる。スコットは戰爭中海戰に參加して精神に大打擊を受け、その療養に此處へ來て回復に向いつゝある男なのだ。彼はペギーと親しくなるにつれて彼女の不幸に同情し、彼女を自由にしてやろうと決心する。彼はペギーの夫のテッドが、盲目であることに疑いを抱き、本當に盲目であるかどうかを試そうとして、テッドを斷崖の端へ連れて行き、そこへ一人殘して歸つて來る。もし盲目でなければ、一人で家へ歸つて來るだろうし、もし盲目だつたら崖から墜ちて、或いは死んでしまうかも知れない。こうした緊張したシチュエイションを、ルノアールは見事な手腕で描いて見せる。結末は月並な、眞實には遠いが道徳的なハッピー・エンドになるが、そこ迄の迫力は一寸類がないと云われる。

チャールス・ビックフォードは長い間振わなかつたが、この映画では荒々しい男の野獸性と優しさとを素晴らしく演じて、立派なカム・バック振りを示している。ジョーン・ベネットは「眞紅の町」「マコーマー事件」等、近頃は惡女の役ばかりを得意としているが、この映画での役も同じタイプで、ロバート・ライアンもルノアールの指導で、正確に與えられた役を樂々と自信をもつて演じているそうである。

撮影監督は**レオ・トーヴァー**と**ハリー・ワイルド**。**ハンス・アイスラー**の素晴らしい伴奏が、映画の氣分醸成に大きい効果を擧げている。上映時間は一時間十一分。

「名譽を汚された女」に
主演するヘデイ・ラマー

★★★★★★★★★★★★

ユナイテッド・アーチスツ映画

名譽を汚された女

ヘデイ・ラマー好調！

Dishonored Lady

★★★★★★★★★★★★

製作者**ハント・ストロムバーグ**が**ヘデイー・ラマー**を主役として「不思議な女」"Strange Woman"に續いて製作した映画である。原作は**マーガレット・アイアー・バーンズ**と**エドワード・シエルドン**共作の舞臺劇で、これを**エドマンド・H・ノース**が脚色し、**ロバート・スティヴンスン**が監督した。

原作の舞臺劇は一九三〇年にカスリン・コーネルの主演でブロードウェイで上演されヒットしたものだが、脚色に當つて、ヒロインの名がマデリンである事と、最後に彼女が殺人の嫌疑で公判に附せられることとを除いて、ストオリーは全然異なつたものになつている。原作では、ヒロインは英國の貴族と結婚したさに、情人たるアルゼンチンのキャバレエのダンサーを毒殺し、公判に附せられる。彼女は友人たちが僞證してくれたお蔭で無罪を宣告されるが、友人たちは彼女を救つた後、彼女を輕蔑し彼女を棄てゝしまう。

映画の脚本は三幕に分かれたように書かれている。第一幕では、マデリンはある雑誌の編集長であるが、神經衰弱にかかつて、精神病醫の診察を受ける。醫者は環境を變えて氣分の轉換を計ると良いと薦める。第二幕で、マデリンは變名して、貧乏な画家を裝い下宿を變える。そこで彼女は若い醫者（**デニス・オキーフ**）に會い、純眞な戀を捧げる。彼が會議で旅行に出た後、彼女はある百萬長者（**ジョン・ローダー**）と知合うが、その男が殺され罪なきヒロインが犯人の嫌疑を受ける。第三幕は公判の場で、醫者の努力で眞犯人が捕えられて萬事目出度く終ると云う筋書きである。

ヘディー・ラマーは**ルシエン・アンドリオット**の素晴らしい撮影と、美しい衣裳に助けられて、悲劇的な役を見事に演じ、共演の二人も良い出來榮えで、興行的に成功疑いなしと云う映画となつている。ジョン・ローダーは私生活ではラマー嬢の夫である。

ウィリアム・ランディガンが殺

New Films in New York

本誌速報 紐育封切映画御案内

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

二十世紀フォックス映画

三十四丁目の奇蹟

美しいセンチメントと涙で彩られた心温まる映画！

Miracle on 34th Street

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

この映画の題名になつている三十四丁目は、紐育市の三十四丁目のことで、そこには有名なメイシー百貨店がある。東京で室町と云えば三越を連想するように、紐育で三十四丁目と云えば、誰でもすぐにメイシーを連想するのである。この映画は、そのメイシー百貨店を背景にした物語で、實際に紐育にロケイションして製作された。**ヴアレイタイン・デイヴイス**の書いた原作を、監督の**ジョージ・シートン**が自ら脚色したもので、**モーリン・オハラ**、**ジョン・ペイン**が主演している。シートンは廿世紀の新進監督で、自分の作品は大抵自ら脚色している。

サンタ・クロースがあるか、ないかと云う問題を取扱つた喜劇だが、いわゆる心温まる内容で、美しいセンチメントに彩られ、快よい涙さえも流せる近頃にない傑作だとの評判である。

物語は、感謝祭當日、メイシー百貨店のパレイド（ニュース映画でお馴染みの、巨大な風船人形がブロードウェイを行進する紐育名物の年中行事）を見物していたクリス・クリングル（**エドマンド・グエン**）は、サンタ・クロースとしてメイシーの玩具部に雇われることになる。玩具部の主任（**モーリン・オハラ**）は、クリスがお客の子供たちに、店にない品物のことを聞かれると、その品なら、どこそこの百貨店へ行けばありますと、親切に教えるのを見て心穏やかでない。競争者の宣傳をする男は雇つておけない、と彼女は考える。だがクリスのこの態度は、お客たちには非常な好感をもつて迎えられる。そのお客たちは前よりもメイシーを信用し、却て上得意になつてくれるのだ。この競争者を宣傳するやり方は、紐育中の百貨店の採用するところとなる。

オハラ嬢は寡婦で、七つになる女の兒（**ナタリー・ウツド**）とアパート住いをしているが、彼女は娘にサンタ・クロースなどは迷信だと教え込もうとする。彼女のアパートの隣りに住んでいる若い辯護士（**ジョン・ペイン**）は、彼女に好意を寄せていて、娘とも仲善しになるが、彼は娘にサンタ・クロースは實在すると教える程の「舊式」な性質であつた。

クリスは、メイシーの診療部の醫者と争つて狂人扱いをされ、危く精神病院へ入れられそうになる。クリスマスが近ずいた頃、彼の精神鑑定が紐育の高等法院に持ち出され、判事（**ジーン・ロックハート**）の取調べを受けることになつたが、ジョン・ペインは敢然として彼の辯護を引受ける。判事は非常に困難な立場に立つた。もしサンタ・クロースがないと判決すれ

「三十四丁目の奇蹟」より…モーリン・オハラとジョン・ペイン。

と、ジムは汽車の中で喧嘩した對手が、マックロリー醫師であることを發見し、具合の惡い思いをする。二人は一緒に仕事をせざるを得ない立場に立つたが、ジムの温い心と仕事に對する熱心さとは、徐々に老醫師の彼に對する反感を消し、遂にはジムは老醫師の尊敬を克ち得る、と云うテーマである。

原作は「我が道を往く」のフランク・バトラーで、これをアーサー・シークマンが脚色し、エリオット・ヌージエントが監督に當つた。書卸しものだけに、主役二人の性格を生かすように構成されていて、老醫師が若い醫者の現代的な醫術に反感を感じ、恐怖を抱くあたりのユーマアは、丁度「我が道を往く」の新舊兩牧師の扱い方と同じようである。ストーリーそのものは、決して觀るものを驚かせるような奇抜なものではないが、人物の性格描寫や、個々のエピソードは誰をも滿足させ喜ばせるであろうと云われる。

この映画のヒロインは小學校の女教師に扮するジョーン・コールフイールドであるが、ワンダ・ヘンドリツクスと云う若い女優が、ジムに戀を捧げる女學生に扮して印象的である。

ジョニー・バークとジエームズ・ヴアン・ヒユーゼンの作曲になつた四つの新曲がクロスビーによつて唄われるが "My Heart Is a Hobo" "Smile Right Back at the Sun" "As long as I'm Dreaming" の三つは特に佳調である。撮影監督はライオネル・リンドン。伴奏の作曲はロバート・エメット・ドーランで、上映時間一時間四十六分である。

Bing Crosby
(*Paramount Star*)

「ようこそ赤ちやん」に主演している**ビング・クロスビー**……老名優バリー・フィツツジエラルドと再び共演して「我が道を往く」とよく似たストーリーで愛すべき青年の役を淡々たる藝風で演じている。

人犯人に、モーリス・カーノウスキーが精神病醫に、美しい金髪のナタリー・シェイファーがヒロインの親友に、ポール・キャヴアナアが、ヒロインの美貌に魅せられる出版會社の社長に扮している。

上映時間は一時間二十七分。五月二十三日から、六週間で打切られた「ヴェルドオ氏」の後を受けて、紐育ブロードウェィ劇場で封切られた。

★★★★★★★★★★

ウオーナー・ブラザース映画

シヤイアン

勇壯な西部劇の大作！

Cheyenne

★★★★★★★★★★

アメリカの映画會社は必ず毎年数本づつの大掛りな西部劇を製作するが、これはウォーナー・ブラザースが今年發表する西部劇の大作である。原作はポール・I・ウエルマンのオリヂナルで、アラン・ルメイとテムズ・ヴイリアムスンが共同で脚色し、「いちごブロンド」「鐵腕ジム」のラオール・ウオルシユが監督に當つた。

時代は型通り西部開拓時代で、ワイリー（デニス・モーガン）と云う二挺拳銃の博打打ちが、ピンカートン探偵事務所の探偵ヤンシー（バートン・マクレーン）と親友になり、ウェルス・ファーゴー商會が輸送中の金塊を盗む盗賊の捕縛に協力する物語である。その盗賊は盗んだ金箱の蓋に、必ず二三行の詩を書残す習慣なので、誰云うとなく「詩人」と云う渾名をつけられていた。然し彼が何者であるかは長い間ピンカートンの探偵たちにとつて謎であつた。ワイリーは、探索を續けるうちに、シャイアンのウェルス・ファーゴー事務所の検査係エド・ランダースが犯人の「詩人」に違いないとの確證を得る。彼はランダースの妻アン（ジエーン・ワイマン）や、ランダースが妻を捨てて一緒になろうと考えている美しいダンス・ホールの唄女エミリー（ジヤニス・ペイジ）と知り合う。ワイリーたちの努力で、サンダンス・キッド（アーサー・ケネデイー）と云う惡漢も法の制裁を受け、詩人も猛烈な追跡の後に捕えられる。

俳優ではブルース・ベネツトが「詩人」に、アラン・ヘールが臆病なシェリフに、ジヨン・リツヂリーがサンダンス・キッドの兇悪な手下に扮しているほか、モンテ・ブルー、トム・タイラー、ボツブ・ステイール等の古顔が助演している。

主役のデニス・モーガンは「戀愛手帖」で、ジエーン・ワイマンは「失われた週末」で、それ〴〵近く我等に紹介される人たちである。ジャニス・ペイジは近頃のウォーナー映画によく出演する新人だが、若く美しいその容姿は、この映画に華かな色彩を添えている。映画の中で彼女は二つの歌を唄う。

シド・ヒコツクスの撮影は、美しいロケイションの效果を極度に發揮していて、殊に驛馬車襲撃とか、クライマックスの大掛りな追跡シーンなどは、觀るものに戰慄感を與えると評されている。マツクス・スタイナーの作曲した伴奏音樂も、例の如き優れたもの。その規模と面白さに於て第一流の西部劇だそうである。上映時間は一時間三十七分。

★★★★★★★★★★

ウオーナー・ブラザース映画

二人のキャロール夫人

强力な配役の魅力！

Two Mrs. Carrolls

★★★★★★★★★★

この映画の製作者はマーク・ヘリンジヤーであるから、恐らく二年位前に製作されたものであろう。ハムフリー・ボガート、バーバラ・スタンウイツク、アレキシス・スミスと三人のスターを並べた强力な配役が興味を唆る。原作はマーテイン・ヴエールの舞臺劇で、トマス・ジロツプが脚色し、ピーター・ゴツドフリーが監督したメロドラマである。

画家のジェフリー・キャロール（ハムフリー・ボガート）はスコットランドへ休暇を過しに行つて、美しいセシリー（アレキシス・スミス）と戀に陥ち彼女と結婚する爲にロンドンに歸つてから妻のサリー（バーバラ・スタンウイック）を毒殺するそしてセシリーと結婚するが彼はまた他の美しい娘と知合い、その娘と結婚したさに、第二の妻をも同じ手段で毒殺しようと計る。彼の計画は殆んど成功しかけるが、セシリーは危い所でこの難を逃れ、キャロールは法の制裁を受けると云う筋である。

原作が舞臺劇であるせいでもあろうが、動きが少くて臺詞が多く、アクションで見せるべきサスペンス迄も、臺詞に頼つているので、映画と云うよりも、舞臺劇に近いと批評されているが、スター・ヴアリューが强いから興行的には成功するであろう。

スターたちを助けて、ナイジエル・ブルースが英國の醫者に、アン・カーターが画家の娘に、その他イソベル・エルソム、パット・オムーア、アニタ・ボルスター、コーリン・キャムベル等が助演するほか、監督のピーター・ゴツドフリーと、古い俳優のクレイトン・ヘールが端役で出演する。

撮影監督はペヴァレル・アーリイ、伴奏の作曲はフランツ・ワクスマンで、メロドラマ效果を助けている。上映時間は一時間四十分で四月五日から紐育ハリウッド劇場で封切られ八週間續映された。

「二人のキャロール夫人」に主演するバーバラ・スタンウイツク

★★★★★★★★★★

パラマウント映画

ようこそ赤ちやん

名コンビ再び共演！

Welcome Stranger

★★★★★★★★★★

「わが道を往く」で共演して興行價値の記録を作つたビング・クロスビーとバリー・フイツツジエラルドの二人が共演した喜劇である。この映画ではクロスビーはジム・ピアスンと云う若い醫者を演じる。ジムはニウ・イングランドの小さい町に住む老醫師ジョゼフ・マックロリー（バリー・フィッツジェラルド）が休暇を取る間、その代理を命じられて、その町へ行く爲に汽車に乗るが、その汽車の中で、彼はマックロリー老醫師と偶然乗り合わせ、お互いに對手の素性を知らないで、詰らぬことから口喧嘩を始める。さて町に着いて見る

セツプンのお手本

これは厚釜しい……などゝ野暮なことは云いつこなし。接吻するこの２人は本當の御夫婦ですが、今度「アトランテイス」という映画で初めて共演することになり、私生活における實感をそのまゝキヤメラの前で再演しているところです。２人は**ジヤン・ピエール・オーモン**と**マリア・モンテス**です。

私のダンナ様

嘗てアレキサンダー・コルダと結婚したことのある**マール・オベロン**は、現在ルシエン・バラード夫人です。ルシエン・バラードはオベロンの主演した「謎の下宿人」のキヤメラマンです。ここでこの御夫婦を御紹介しておきます。

ゲーブル若返る

暫く鳴りをひそめていた**クラーク・ゲーブル**が、最近さかんに女の子をつれて現われます。この間の夜はアニタ・コルビーをエスコートしていたと思つたら、今夜は**アイリス・ビーナム**というブルネットの美しいニュー・フエイスです。彼女はこれから賣出そうという有望な新スターです。ナイト・クラブの駐車場で、自分達の車を待つ２人をすかさずパチリツ！

This is Hollywood!

I. N. S. 特約**ハリウッド・スナップ** Hollywood Snapshots exclusively furnished by I. N. S.

御存知の3人

「世界の母」でシスター・ケニーに扮して素晴らしい演技を見せた**ロザリンド・ラツセル**が、プロデユウサーである夫のフレデイ・ブリツソン（右）と「此の虫十萬弗」の**アレキサンダー・ホール**監督と一緒のところです。

3度目のコンビ

ベテイ・デヴイスのハズを御紹介いたします。彼氏の名前をウイリアム・グラント・シエリーといゝます。結婚したのは1945年・・・・彼女はこれで3度目の結婚です。彼氏は画家で、アマチユア・ボクサーとのことです。

愛の設計

「百萬人の音樂」でお目見得した**ジユーン・アリスン**が、ダンナ様の**デイツク・ポウエル**とお揃いでお茶をのんでいます。2人とも仕事は好調、共稼ぎの實をあげて、最近はヨツトを買つたり新しい家を建てたり、今度は早廻り世界一周でもやりましようかと、當時いたつて御圓滿です。

る。クライマクスの射ち合いも盛り上つて來ない。從つて、表徴的な表現を用いれば、この映画のよさはすべてギタアの調べのなかにこめられている、といつてよいのである。が、いずれにせよ、アメリカ映画再開以來、これほど私の胸を高鳴らせた作品はない。(二十世紀フォックス映画)

桃色(ピンク)の店

The Shop Around the Corner

飯島正

一九四〇年の作品だけに、いま見ると、多少時代づいた感じがする。エルンスト・ルウビッチュのいわゆるソフィスティケイテッドな喜劇が、ちよっと「場ちがい」な感じがするの、時代のせいでもあろうか。

ルウビッチュとハンガリイの芝居との關係は、むかしからふかい。昨年封切られた「天使」の原作者レンジェルも、ハンガリイ人だし、この映画のラアスロオもそうである。ルウビッチュ自身が、ハンガリイだねである。ハンガリイのせりふのおもしろいしゃれた喜劇は、ルウビッチュのお手のものであった。

しかし、殘念ながら、「桃色の店」の主題は、たしかにブダペスト的な氣分はもっているが、あまりに話があわすぎる。マアガレット・サラヴァンとジェイムズ・ステュワアトが、本式に交渉しだすなかほどまでは、ルウビッチュともおもわれない味のなさである。が、それはむしろ原作の罪であろう。またサムスン・ラファエルスンの脚色のまずさでもあろうか。なかほどからあとは、なかなかおもしろい。ことに、マアガレット・サラヴァンの演技がいいので、調子がよくなってくる。フランク・モオガンやフェリックス・ブレッサアト、ウィリアム・トレイシイなどのワキ役の活躍も、あずかって力がある。

具體的にいえば、サラヴァンとステュワアトが、無名の手紙のやりとりで、顔も知らないのに現實ばなれのした架空の戀人同志になっているのを、現實では喧嘩友達であるという行きちがいから、喜劇がおもしろくなるのである。おわりには、當然、夢と現實が、同一の二人において一致するのだが、その解決は、意外なおもいつきの圓滑な方法でおこなわれていた。原作のアイディアもいいが、ルウビッチュの俳優指導も、ぴったり雰圍氣にあっていた。

大體おわりの方が、出よりもおもしろいというのは、監督者の腕のいい證據である。大概は、出がよくておわりがだめになる傾向がある。ジョン・フォードでさえも、「荒野の決鬪」でそうだった。ルウビッチュ作品としては、上出來なものではないが、ルウビッチュだけのことはあったとおもう。

ウェルナア・ハイマンは、ミュジカルものの名手だが、この映画の音樂は、別に彼らしい特色も見せなかった。(M・G・M映画)

戀愛手帖

Kitty Foyle

山本恭子

近ごろ、映画の內容とは、およそ感じの遠い邦文題名が多い。ところが、この映画は、珍らしくその內容に、やゝぴつたりした邦文題名を持つた作品の一つであつた。原名は、「キテイ・フォイル」というアメリカの流行作家のクリストフア・モオリイの小説であるが、生活というものに對して誠實な態度を持つた、それでいて、それ相當の夢やあこがれも捨てることの出來ない年若い職業婦人が、小ぎれいな手帳に、その折々心をこめて書きしるした戀愛の記錄といつたような感じのしないでもない作品である。そしてこれは、むしろ今日の日本の女性にデエディケートされるにふさわしい內容を持つている。何故なら、終戰後に新憲法が發せられて、初めて日本の女性に、男性と同等である權利と責任が與えられたのであるから。そして、この映画は、そのプロローグで示されているように、女性が男性から獨立したときに、どんな風な心と生活の自由が彼女を待つているか、それと同時に、本當にその自由を正しい生活の軌道にのせ、幸福へゴールインさせるまでには、どれほどの悩みを經て行かなければならないかを、物語つているのであるからである。今日の日本の若い女性、殊に職業婦人は多かれ少かれこうした悩みを惱んでいるのであるから、この映画は、男性諸氏にはちよつと想像出來ぬほどに、身近かな親しみを持つて、日本の女性たちに鑑賞されるのではないかと思う。

「嵐の青春」「我等の町」の監督サム・ウッドも、ものがものだけに、戀愛的なふんいきにきめのこまかいニュアンスを出すことに努力しているようで、或る程度それに成功してはいる。けれどこれは、最近歌と踊りとを離れて、演技本位の役柄に實に情緒的な味を見せているジンジャー・ロジャースの、アカデミイ賞を得たという名演技に負うところ大であろう。二人の相手役、デニス・モーガンとジェームス、クレーグも仲々に良い。その表情に一種のふんいきというか、かげのようなものを持つていて、キテイのような我の強い女性

社告

八月號休刊について

七月末より廿日間餘の長期にわたつた五大印刷會社の共同ストライキは、各出版物の進行を一齊に停止させ、出版界は非常な混亂狀態に陷入りました。このため八月號を八月中に發行することは不可能となり、九月中旬頃漸く八月號の出る雜誌も多いことゝ思います。

今回の發行遲延がやむを得ない事情によるとはいえ、本誌は徒らに內容の古くなつたものを店頭に出すを潔しとせず、思い切つて八月號を休刊することにしました。
こうした缺號は本誌創刊以來嘗てなかつたことで、未曾有の用紙難の際も一回として休刊或いは合併等の姑息手段をとつていません。この點愛讀者諸兄姉にも深く信頼を寄せられてきたところですが、今回は不可抗力な障碍のため、より新しくより良き內容を提供するという私達の編集良心から、遂に八月號休刊という非常措置をとつたような次第であります。

每號御愛讀を賜わつている諸兄姉に八月號の休刊を深くお詫びするとともに、缺號によつて蒙る莫大な損失をも顧ずして採つたこの非常措置に對して、何卒御賢察あらんことをお願いいたします。

淀川長治君の入社と「映画之友・友の會」結成について

アメリカ映画の紹介と評論に活躍しつゝある淀川長治君が、この度セントラル映画を退社して本社に入社しました。今後は「映画之友」編集部の一員として腕をふるつてもらいます。同君の入社によつて本誌は更に千鈞の重みを加えたといえるでしよう。

尙同君の入社を機會に、從來の「映画之友・友の會」を改組し、全く新しい構想のもとにアメリカ映画愛好者グループを全國的に結成することになりました。詳細は次號に發表の豫定ですから御期待願います。

ヴアン・ジヨンソン――「町の人氣者」でこの人氣スターの片鱗をうかゞうことが出來たが、噂にたがわず好感のもてるスターである。

試寫室から

荒野の決鬪

My Darling Clementine

双葉十三郎

「驛馬車」以來、八年間、待ちに待つたジョン・フォードの西部劇である。

この物語は、アリゾナの銀鑛町トゥムストンの歷史に名高いアープ兄弟とクラントン一味の血鬪を、潤色したものであるが、構成の上からみると、「驛馬車」が地理的にも内容的にも一氣呵勢に直線的にすゝんでいたのに對し、これはトゥムストンという町に腰をおちつけて、横にひろく展開するというゆき方である。演出手法からみても、「驛馬車」とは可成り趣きを異にしている。この八年間、ジョン・フォードは數々の問題作を發表しており、その間に、手法上色いろな變化がみられることと思うが、不幸にしてそれらの作品に接する機會がなく、いきなり今日の「荒野の決鬪」をみた私には、非常に驚ろかされる點がすくなくなかつた。この映畫には、ひたむきな動的場面構成とテムポの追究に代つて、落着いた心境的な或いは詩的なものが滿ちている。そして、恐ろしくこまかい細部の演出がある。小津安二郎が西部劇をつくつたら、こんなものになりはしないか、という印象さえうけるのである。物語のクライマクスは勿論、全篇の脊骨になつているのは、ワイアット・アープとクラントン一味の戰いであり、弟を殺され家畜を奪われたワイアットが、他の二人の兄弟と共にこの町にとゞまり、犯人を探し求める經過が描かれるわけであるが、そうした西部劇の定跡的な物語であるにもかかわらず、その定跡のすべてを外した扱い方が試みられている。それが、風物誌的な角度であり、心境物的な角度である。ヘンリィ・フォンダを主人公にもつて來たことも、その意圖に基くのではないかと思う。フォンダ扮するワィアットは、英雄的に氣負つたところがすこしもない。ひとたび拳銃を持てば、アリゾナ界隈では並ぶものなき名手であるが、普段はいかにも平凡な男らしく、多少の洒落つ氣もある若者である。こういう人物がいるトゥムストンの風景が、作品の基調になつている。日曜日の朝、床屋へ行つて忍冬の香水をふりかけてもらい、ポオチに椅子を置いて、脚をぶらぶらさせながら、野外教會へゆく人たちをのんびりと眺めている。そんなふうな味がこの映畫を象徴している。ヴィクタア・マチュアのドク・ホリディの性格描寫も型どおりのヒロイズムではない。

構圖の工夫（戶外のカメラ・アングルは仰角が多く、すばらしい雲の效果をとらえている、酒場のバアの撮り方などもパアスペクテイヴの效果を狙つてすばらしい）演出の趣向も細かく、殊に活劇場面には新らしい技巧をこらしている。驛馬車の砂煙、銃聲に狂奔する馬の使い方などがその代表的な例である。

これらの細部にわたつて述べる餘白がないのは殘念だが、ただこの作品の不滿は、脚本構成のためであらう、後半チワワの死後はぐつと調子がおちてしまうことであ

だが、ホーマーの兄に扮する今評判のヴァン・ジョンソンは傍役ながら好印象を與えるものがある。しみじみと好感のもてる佳作である。一九四二年度作品。（M・G・M映画）

鐵腕ジム

Gentleman Jim

飯田心美

この映画の主人公ジェイムス・ジェー・コルベットは重體量選手權保持者として一時全米の人氣を獨占した人物で、拳鬪の上ではプリモ・カルネラやジャック・デンプシーやジョルジュ・カルパンチェと共に記憶されてよい人である。拳鬪ファンに云わせると彼のあざやかな足さばきは試合技法を一變させたといわれるほどでその美しいフォームは均整のとれた體格と共に人氣の中心を形つくつていたらしい。そのためか彼は映画界からも招きをうけ連續映画の主役に收つたこともある。僕なども少年の日にその連續活劇「深夜の人」を見て、強くて美しいコルベットの動作に魅せられたものである。たしかユニヴアーサルの製作だつたと思う。

こんどウォーナー社で作つた此の作はコルベットのその伊達好みのところと愛すべき押しの强さを主人公の性格にすえたもので、平凡な銀行員から次第に大物の拳鬪家に育つてゆく元氣な若者の姿がおもしろおかしく描かれている。材料が材料なので、あくまで、單純明快な物語にするところに狙いがをかれてあり、肩のこらないお話になつていればいゝわけで、その點いまさら文句をつけるのも野暮な次第である。

物語の仕組は、この主人公に添えるに喧嘩戀人的な役目を演じる金持令孃のヴィクトリアを配し、氣質の荒つぽいコルベットの父親を出し、若者の才能に惚れこんで一方ならぬ世話をやく老判事を活躍させている。もちろん、なによりの見世場は拳鬪試合のシーンであつて、當時一般から恐れられた名打ての强豪を一人一人片づけてゆくコルベットの健鬪ぶりが全篇の眼目であることは斷るまでもなかろう。その試合の魅力を引立てるために相手にまわる選手はいずれも腕力非凡の怪漢に仕立てられている。ことにラストに於てコルベットと世界選手權を爭うジョン・エル・サリヴアンは除々たる體格、堂々たる髯、カンラカンラと鳴りわたる豪傑笑い、の道具立ても凄じく、さながら運慶の彫り上げた仁王様を想わせる。このサリヴアンとコルベットとの試合前の對立、試合後の握手、は共にこの映画中の白眉だ。監督にあたつたラウル・ウォルシュは嘗て「藪にらみの世界」「榮光」などで知られた人だが、彼一流の線の太さ、逞ましさは時折り凄じい迫力を見せる。令孃ヴィクトリアに扮するアレクシス・スミスが紅一點の色どりである。（W・B映画）

抱擁

↑ いよいよ入荷と決定した46年度20世紀フォックスの大作「**剃刀の刄**」から、主役の**タイロン・パワー**と**ジーン・テイアニー**の熱い熱いラヴ・シーン2態。

が、逢うと案外にもろくひかれてしまうといつた感じをよく出している。女性解放の問題と堅苦しく結びつけて見なくとも、この映画は、いわゆる「ホワイト・カラー・ガール」と呼ばれる職業婦人の生活、特にデパートの賣子階級の職業婦人の生活面が、色々に描かれていて興味深い。（RKOラジオ映画）

我が道は遠けれど
One Foot in Heaven

清水晶

秀才の一醫學生が、或る日、教會できいた説教に感激したのがきつかけで、牧師に轉身し、新妻と共に、半生を地方の小都會を轉々する傳道生活に捧げるという物語。昨年來の「王國の鍵」や「我が道を往く」と同様、宗教色の濃い、ヒユーマニスティックな系列に屬するもので、その間、結婚式の謝禮で僅かに糊口をしのいだり、十九ゲ所も雨漏れがして惱まされたりといつたような、貧しい生活の中のいろいろな挿話から、「牧師は人々の召使である。召使である身は着飾つてはならない」とか、「牧師の家族は、片足は地上に、片足は天國にちようど綱渡りをするような心の張りとバランスを取つて進まなければならない」とかいつたように、家族一同に對して、牧師一家としての心がまえが説かれたり（この映画の原名は、この言葉にちなんだ「片足は天國に」である）、教會をめぐる田舎町の人々の多種多様の動きが描き分けられていたりするかたわら、この若い牧師はまた、結構妻に甘く、子煩惱な一市民として、宗教というものを少しも神秘的なものにせず、どこまでも日常的な、わかりやすいものとして描くことに、お膳立は一通りも二通りも揃つているが、何かしら全體を引きしめるアクセントやヴアライエテイに缺けていて、全十一巻のどこがヤマということもなく、早い話が、觀る人自身熱心なクリスチャンででもない限り、いさゝか退屈の感を免れまい。原作は、實際の田舎牧師であつた原作者の父の生活記録に基くほとんど實話に近いものであるというから、その地味な平板さは推して知るべきであるに加えて、もともといさゝかのケレン味もないかわりに、アメリカ映画らしいユーモアとはおよそ縁の遠い、變にくそ眞面目で、執拗なアーヴィング・ラパーの演出が、こうした結果を呼んでいるのである。しかし、これでも、その昔の小都市特有の風俗や時代色と共に、こういう若い平民的な牧師の日常的な姿を氣長に眺めている分にば、満更取るに足らぬ代物ではないし、それに、時代色といえば、「劇中劇」ならぬいわば「映画中の映画」として、ウイリアム・S・ハートのサイレント映画の一片が見られるのは、映画ファンにとつて時ならぬおまけである。

最近「人生のさかり」で、その昔の「ジキル博士とハイド」と共に、再度のアカデミイ賞を得たフレドリック・マーチは、がらの大きさに加えて、以前のギゴチない殼をいくらか脱し、「我等の町」のマーサ・スコットも、どこがとりえということもないが、憎めない。（W・B映画）

町の人氣者
The Human Comedy

大黒東洋士

最近アメリカ映画を語るに、人間の善意と美しい道義で貫かれたヒユウマニステイツクな映画が多いということが、よく話題になる。戦前にもこの種の映画がなかつた譯ではないが、戦争がはじまつてからこの方、この傾向は特に著しくなつてきている。戦争という大きな衝撃によつて起る民心の不安と焦慮、更に戦後における緊張の後に来たる精神的弛緩に、心の暖まる映画がどれ程豊かな情操を國民に與え、また一服の清涼劑として役立つているか、想像以上の効果をあげているとみていゝ。あの豊かな娯樂性にヒユウマニズムを盛つた映画を數多く作つて國民をして暖い感情に浸らせ、そして極く自然に愛國心の基盤ともいえる同胞愛へ引き摺りこんで行く手練手管は誠に巧妙を極めている。

私はこの「町の人氣者」をみて特にこの感を強くした。葡萄園の連る加州の田舎町イサカを背景として平凡で善良な人達の日々の營みの中に、アメリカの銃後生活と彼等の心の在り方が、淡彩なタッチで心憎いまでに描かれている。二年前に父を失つたマコーリー家では長男が出征した後、次男のホーマーはまだ學生だが、放課後電報配達係を勤めてこの家の唯一の働き手である。優しい母親と姉、そしてやんちや盛りの弟との睦しい四人暮しの生活を物語の中軸として、ホーマーの通學している學校、町の郵便局、局長と戀仲である銀行家の娘の家庭、それにホーマーの兄とその戰友の軍隊における生活等が描かれて行くが、それ〴〵のエピソードに、また一人々々の人物に、作者は善意と理解に満ちた暖い目を万遍なく注いでいる。

これは短篇小説作家として人氣のあるウイリアム・サロイヤンがM・G・Mから頼まれて書いた原作を映画化したもので、幼にして父を失い、少年時代から苦勞しながら色々な仕事に従事してきたサロイヤンが、自分の電報配達員時代にヒントを得て書いたものといわれている。純眞な少年時代に取材して傑れた短編をいくつか書いているサロイヤンの原作だけに、全篇にわたつて好ましい共感を覺えるものがある。彼はこれによつて一九四二年度のアカデミー原作賞をもらつている。

脚色はハワード・エスタブルツク、監督はヴェテラン、クラレンス・ブラウン、少し長すぎることゝ（というのは描寫に冗漫な個所がある）、フランク・モルガンの扮した老電信員と局長を描き足りない缺點を除けば、一貫した快い雰圍氣をにじませて、ヒユウマニテイに富んだ明るく暖いアメリカの銃後生活を描くことに成功している。

配役も誠に賑やかで、ホーマーに扮したミツキー・ルーニーとその母親になつたフエイ・ベインターの好技が光つている。

フランク・モルガン、ジエームス・クレイグ（局長）、マーシヤ・ハント（局長の戀人）、ドナ・リード（ホーマーの姉、ジョン・フオードの「彼等は消耗品」、フランク・キヤプラの近作「素晴らしき人生」に主演している新人）は平凡

の連中が彼女と顔見知りで、彼女と朝の挨拶を交わしたが、これは誰でもやることで珍しいことでも何でもない。ハリウッド見物のお上りさん達には、こんな目だたない服装をした痩せたノッポの女が、天下の大スターだとは氣付く由もなかった。

　ハリウッドの掟には、ハリウッド市民たるものは、スターを好奇心に満ちた旅行者から護れ、という項目もある。ギャレヂの男は、

「ホラ、あれがグレタ・ガルボだよ」

　と傍にいる旅行者に囁く前に、自らの舌を噛み切るだろう。

　最近、ハリウッドに立寄ったある兵隊から、こんな話をきいたことがある。

　彼はある八百屋の店で**ロレッタ・ヤング**に出逢ったが、お化粧もしていないその女が、まさか有名なスター御本人とは信じられなかったので、彼女に近ずいていった。

「貴女は實にロレッタ・ヤングに似てますね。だが失禮ながら、貴女の方がずっと美しい」

「有難う」

　と彼女は答えてそのまゝ店を立ち去った。八百屋の親爺さんは彼女が遠くへ行ってしまうのを待ってから、腹を抱えて笑ってこう云った。

「頓馬だなあ君は、あれは本物だよ」

　新しくハリウッドへ來た者は、たとえ本人に逢っても、それが本人であるかどうか確信が持てないのを、ハリウッドの住民たちが心を合わせてスター達を護るため、スターは私生活を持つ事が出來るのだ。

昔は馬鹿な眞似もやったが…

　昔はスターも今と異って、派手なパジャマなどを着て往來に出たり、宣傳部の考える馬鹿な眞似を得意になってやったこともある。

　嘗てある雑誌記者が**マレーネ・ディートリッヒ**の會見記をとろうとして、彼女を訪ねたことがあったが、その時彼女は桃色の絹のパジャマを着て居り、その絹が薄いので――つまり、彼は質問をすっかり忘れる醜體を演じたことがある。會見した場所は撮影所の中のレストランで、丁度晝食時間であったが、彼との約束を果す爲に着換えをせずに出て來たのだった。彼は彼女の方を見ることが出來ずレストラン中へ眼をそらし續けていたため會見記は全然ものにならなかった。又別の記者が同じ經驗を故**キャロール・ロムバード**との會見にもったことがあった。異った點はパジャマが緑色だったことだけだ。もし彼等がハリウッドに慣れていたら、十グラムの絹を身につけたゞけの美女に度膽を抜かれることはなかったであろうに……。

　然しこんなことは現在では絶體にない。彼女等はパジャマからスラックスや半ズボンや單純な外出着に成長した。キャメラの前に立つ必要のない日には、少くとも午前中は、彼女達はこのいずれかの服装をして、スポーツなどを樂しむのである。

これが天下の大スターとは…

　先日の朝、ある新聞記者が散歩をしていると、彼はネイ夫人――いや**グリア・ガースン**と言った方がいゝかしら――が自轉車に乗って、白い小犬をお伴に連れて走って來るのに出逢った。ガースンは灰色のズボンを穿き、縞のブラウスを着ていた。彼女の褐色の髪は陽の中に輝き、彼女の顔は幸福で上氣していた。彼女は彼を認めると、元氣な聲で云った。

「氣持の良い所ですわね！」

　その男が何か答えようとする前に、彼女の自轉車は彼の傍を走り抜けて角を曲ってしまった。彼女の自然な親しみ深い態度は彼を驚かせた。グリア・ガースンが、一介の新聞記者にあんな親しみを見せる筈はない。きっとあれはガースンのスタンド・インに違いない。しかし調べた結果はやはり彼女だった。

　今日のスターは絹張りの長椅子に長々と寝そべったり、プールの日傘の蔭で小間使いに侍ずかれたりしてはいない。もしスターがこんなことをしていると思ったら、そんな想像は棄てゝ頂きたい。

　戦争中は、彼等は召使の不足に誰でも同じ様に惱まされた。運轉手や女中や料理人達は軍需工場や造船所や軍務に去ってしまった。だから戦争中に、スターは家庭内の仕事を自らの手で行い、今もそれを續けている。料理をする必要のある時には、自分たちの手で料理を作った。

　だから此頃ではスターの顔を見ようと思えば、ブレントウッドかビヴァリ・ヒルスの食料品マーケットへ行くのが一番良い。必ず誰かゞ買出しに來るからだ。**ジョーン・クロフォード**や**マーナ・ローイ**のような大スターが、自分で車を運轉し、買物籠を抱えてやって來て、普通のお客と行列に混って順番の來るのを待っている。

　ハリウッドで有名なブロック百貨店に、先日若い婦人が手袋を買いに來た。そして賣子にそれをピーター・リンドストローム夫人宛に郵送してくれるように頼んだ。賣子の娘が、

「失禮ですが、私は貴女が、イングリッド・バーグマンだと思いました。」

と云うと、

「いゝえ、私はリンドストローム夫人です。多勢の方が同じ間違いをなさいます。」と、そのお客は答えた。だがその婦人は、**イングリッド・バーグマン**その人であった。彼女は私生活ではリンドストローム夫人なのである。

　きっとその女賣子は、ハリウッドに新しく來た娘に違いない。

アメリカ映画について

佐藤敬

アメリカ映画が自由に見られる事は、たしかに世の中が明るく感じられる一つの大きな理由になっているようだ。最も私は何か忙しく思うように好きな映画も見られない事が多いのだが、「カサブランカ」「我が道を行く」「アメリカ交響楽」なぞは、それぞれとても面白く見た。

　今私がアメリカ映画について、興味を持ってゐる二つの問題がある。一つは戦争中から起きた現象であろうが、フランス映画とアメリカ映画の交流とその將來への興味である。古い傳統を藝術のセンスの中に持っているフランス映画の獨特なニューアンスが、多くのフランスの映画藝術家によってアメリカへ持込まれている。又現實的でプラグマティックな考え方、従って健全な社會的な常識を持つアメリカ映画が、これをどう自分のものにするかと云う事である。デュヴィヴィエやジャン・ルノアール、俳優陣では、シャル、・ボアイエやジャン・ギャベンなぞの活躍によって、何か新らしいアメリカ映画が誕生しそうな期待を持つのは私一人ではあるまい。

　又もう一つの問題は所謂色彩映画の問題である。どう云う關係かまだ日本では「風と共に去りぬ」や「血と砂」等の色彩映画の代表的な作品も又それ以後の新らしい映画も見られないが、その技術的内容の進歩は想像以上のものがあるようだ。若しこうした完璧に近い色彩映画が上映される時は、この中に多くの問題が山積しているのに驚嘆するであろう。この色彩映画の問題は更に、アメリカの最も藝術的な――漫画映画「白雪姫」「ピノチオ」の作者であるデェズニーが提出したファンタジアに就いても多くの藝術的な問題を見出すであろう。そしてデェズニーとフランスの現代画家で、シュールレアリストのサルヴアトール・ダリとの協同副作のニュースは、更に私達にこの未知の藝術について驚く可き興味を提出するであろうと思う。（筆者・画家）

ハリウッドの掟

スター達に好むような生活をさせ、平和の中に彼等を放つておく——ハリウッド市民に守られているこの掟の中で、スター達は野の花のようにすくすく伸びる！

小森和子

Hollywood Code

スターの顔を盗んではいけない

地球中の何處よりも、ハリウッドの往來では世界的に有名な人々に會うことが出來る。けれど土地の人々は、立止つて彼等をジロジロ見るような事はしない。

いつだつたか、混み合つたバスの中で、ある男が**ジョーン・クロフォード**の大きい眼にぶつかつた。彼は傍に立つているその娘の幅の廣い肩や、ほつそりした腰や、どこからどこまで心の中で調べてみて、絶體に彼女がジョーン・クロフォードに違いないという確信を得た。クロフォード以外にこんな美人が居る筈はない。そこで彼女が彼の降りる停留所で降りたのを幸に、車道を横切る信號燈を待つ間に訊ねてみた。

「失禮ですが、貴女はクロフォード孃ですか？」

娘は首を横に振つた。

「いゝえ、そうだと良いんですけど」

彼女には決してこれは初めての經驗ではなかつた。彼女の故郷の人々は、彼女がいかにジョーン・クロフォードに似ているかを説きその點を利用すべきだとすゝめたので、到頭彼女は意を決して、或る日荷物を纒めてハリウッドへ出發したのだつた。だが彼女は、ハリウッドへ着いて見ると、どんなに才能があつても、ジョーン・クロフォードに似ていると云うだけの理由で、どの撮影所の扉も自働的に閉ることを發見した。撮影所は彼女に用はなかつた。盗んだ性格では、絶體にチャンスは與えられないと彼女は宣告された。まるで彼女が泥棒でもして、他人の顔でも盗んだかのように……。

何故なら近頃では**ベティー・グレイブル**や**ラナ・ターナー**や**ジーン・ティアニー**や**ジョーン・レスリー**にそつくりの若い娘たちを何十人となく往來で見かけるからである。異うことはスターのタイプが變つた事だけで、その娘たちは結局ソーダ・ファウンテンや百貨店の賣子や、レストランの女給になる運命に置かれるのであつた。

密告者になるよりはわが舌を嚙まん

何故往來で會う娘たちを本物のスターと間違えてはいけないか？それは映画スターは決して派手な衣裳や毛皮の外套を着てハリウッドの往來を歩き廻らないからである。そして彼等が外出する必要のある時には、決して他の市民たちと異つた服裝はしない。誰でもが着る様な平凡な散歩服や外出着を着る。時としては中流社會の家庭の主婦よりも、却つて目立たない質素な服裝をするのである。彼等がスターに相應しく着飾る機會は撮影所の命令で公式の席に出る時とか、彼等自身が着飾りたいと考える時だけである。尤も後者の場合は、世界中の女性なら誰でも同じ筈である。何もスターに限つた事ではない。

然し日常生活に於ては、スター達は自由を欲し、自分の好きな様な生活をしたいと望んでいる。不思議な事に多くのスター達の好むのは、むしろ安物の氣輕に惜し氣なく着られる服である。こんな服を着込んでいる時には、彼等は誰にも煩らわされず、ジロジロ見られる事などもなくて濟むから……。

彼等のこの望みは、少くともハリウッドの市民の關する限りに於ては大抵の場合にいやされる。ハリウッドの市民達は、映画スターにとつてハリウッドが彼等の家庭であり、故郷である事を知つている。彼等はハリウッドに住み、ハリウッドで働いている。唯それだけなのだ。だからハリウッドには大部分の市民に守られる一つの掟がある。それはスター達に好む様に生活させ、彼等の生活を侵さず平和の中に彼等を放つて置くという掟である。

だから背て**グレタ・ガルボ**が、古いトウイードの服を着て、踵の低い靴を穿いて毎朝散歩した頃も近所の人々は誰も注意を拂わなかつた。八百屋やパン屋やギャレヂ

➡ 自宅で愛犬と一緒のグリア・ガースン。

公爵は、四人の子と一人の父のために辛くても留まつてほしいと頼んだ。その言葉は、公爵が既にアンリエットに對して愛情を感じている事を示していた。そして彼女も亦、秘かな慕しさを彼に對して抱いていた。彼女は邸に殘ることになつた。クリスマスの夜、ピエール老は「あんたは早く邸を出なさい、もう遅すぎるかも知れんがね」と彼女の將來を暗示する樣な言葉を云つた。アンリエットは暗い影を感じた。

一家が万世節の休みを、公爵の故鄕メルンで過す爲に出發する日の朝、公爵夫人は口論をした結果、アンリエットと子供達だけがメルンへ行つた。だが後から公爵だけが訪れて來た。一同はパリの邸から開放されて、思いきり伸びのびと走り、笑い、樂しい數日を過した。そうしたある日、宿屋の煖爐の前で公爵とアンリエットが二人だけになつた時、公爵は「私の人生でこんなに樂しい時はなかつた。貴女のお蔭だ。ただ貴女が、私の子供の樣な四人の子の母として、今のように火の近くに平和な姿で座つているのを見たいと思うな」

と言つた。その言葉を切ない迄の愛情の告白として聞いた彼女は、胸が疼くくらい嬉しかつたが、ただ微笑むだけだつた。

その夜、パリから公爵夫人はアンリエットに、夫と子供達を奪つた女め、と口を極めて罵つた擧句、推薦狀を書くから、默つて家を出ておくれ、と哀願した。アンリエットは、別れ難い子供達と公爵に別れを告げて、パリへ歸つた。

彼女はルメエ夫人の下宿で、次の就職口への推薦狀が公爵夫人から來るのを待つて暮していたが、空しかつた。彼女はその事を、時折子供達と訪れる公爵には知らさず、恰も平和に暮しているかの樣に裝つていた。だがある日ルメエ夫人から事實を聞いた公爵は、妻の冷酷な仕打ちを知つて、怒りに蒼白になつて歸つて行つた。

その翌朝、公爵夫人が殺されている事が發見された。公爵は殺人犯として取調べを受け、アンリエットも亦、教唆罪としてコンシェルジュリ監獄に收容された。公爵は、檢事に何をきかれても默つていた。そして隙を見て毒をのんだ。その死の床へアンリエットが連れて來られた。檢事は、公爵に繰返えし、くり返し「貴方はこの女を愛して居られたのか？」と質問した。愛している、死ぬ程愛している、だがもしその愛を告白したら、彼女は共犯として斷罪されるだろう。公爵は「愛している！」と叫びたい心を必死に押えて默つていた。その悩みはアンリエットにも痛い程判つた。二人は二人だけに判る愛情の視線を、たゞ默つて交わすだけだつた。アンリエットが連れ歸された後、公爵は枕許へピエール老を呼んで、「私が死ぬほど愛していたと彼女に傳えてくれ」と言い殘して、眼を閉じた。

やがてアンリエットは、證據不充分で釋放された。獄から出る彼女を、溫く迎えたのは、英國から渡る連絡船の上で會つたヘンリー・フィールドと名乘る牧師であつた。彼は、彼女に新生の道を米國に求めなさいと薦めた。彼女は墓標も淋しい公爵の墓に別れを告げ、彼女を非難し、彼女を斷罪せよと叫ぶ全歐洲の人から、逃れるように米國へ去つた。そして牧師の溫い計いによつて、ヘインズ女學院に就職することになつたのである。

――アンリエットは、その過去を女學生の前に語り終えた。そして、

「この女家庭教師は、自由な米國で新しく出發しようとしました。だが、彼女の過去ゆえに、彼女は永久に虐げられ、悩まねばならないでしょうか？」

と言つた時、女學生達は泣いて、自分達の心ない業を詫びるのだつた。

教室に一人殘つた彼女にヘンリー牧師が手をさしのべて言つた。

「私は、貴女が地上に天國を見つけるだろうとお約束しました。その約束は今後も守りますよ」

LITTLE HOLLYWOOD☆

☆多くの若い男のスターが軍人となつてハリウッドから姿を消し、戰爭の終結と共に再び銀幕にカムバックしたが、女優のなかにも久しぶりで、ハリウッドに復活した連中がいる。**ジヤネツト・マクドナルド**もその一人である。彼女は約四年間という長い年月、カメラから遠ざかつていたが、現在MGMで「鳥と蜂」という映画に主演中で、彼女の相手役は「百萬人の音樂」でわれわれの心を溫めたスペイン生れのシムフォニー指揮者**ホセ・イタービ**である。聲樂家としても一家をなしている彼女と、コンサート・ピアニストとしても一城の主であるイタービのコンビで、あるから「鳥と蜂」もすぐれた音樂映画であるが、テクニカラーというのであるから、日本のファンの前に公開されるのは何時のことかわからない。ハリウッド復歸を前に、彼女は『わたくしは挑戰するのが好きで、この「鳥と蜂」に出演するのも、映画に對する挑戰の一つです』といつている。なお、彼女のベタ1・ハーフ、**ジーン・レイモンド**も陸軍航空隊の將校であつたが、いまは再びスイート・ホームの主人公である。また、彼女のカム・バックには MGMのボス、**ルイス・B・メイヤー**も大した力のいれかたで、MGMの衣裳デザイナー、**アイリン・ギボンス**が、マクドナルドのために、特別に活躍している。

☆アメリカ全土に異常なセンセイションを起した「**白晝の決鬪**」については、道德的に見てけしからん、という人士がアメリカでも多く、いろいろな話題をなげかけているが、プロデューサーの**ダヴイツド・O・セルズニツク**は世評をよそにして、「君たちができるものは、自分には更によくやるのだ」と語り、超然たる態度を示している。一方、映画批評家は「白晝の決鬪」を支持するものとこれを德義的に見て不可とするものと、二つにわかれケンケンゴウゴウたるものがある樣子であるが、映画誌の多くはこの映画にたいし「砂・馬・血・戀が原始的な情熱の中に、いきづまるばかりに、リアールに描かれている異色篇」といつて、とにかく賛辭を呈している。「戀の十日間」や「疑惑の影」や「ガス燈」のジヨゼフ・コツトン「イヤリング」の**グレゴリー・ペツク**、日本にはまだ姿を見せない**ジエニフアー・ジヨーンズ**の熱演は洋画ファンの血をわきたゝせるであろうが、これもテクニカラーであるから、當分は見られない。

☆「アメリカ交響樂」や「エイブ・リンカーン」のごとく、アメリカ映画界は知名の士の傳記物語を映画化しているが、前大統領故フランクリン・デラノ・ルーズヴェルトの傳記映画「**ルーズヴエルト物語**」がさきごろ、アメリカで封切られた。このフィルムはニュース映画のなかゝら、ルーズベルト大統領の動きを寄せあつめ編集したものであるが、極めてドラマティックな効果を持ち、同大統領の結婚した一九〇四年から、死去せる一九四五年四月までの間におけるる記錄的なシーンが展開されているという。

島　照

ウオーナー・ブラザース映画

凡て此の世も天國も

All This and Heaven, Too

解説

ラシェル・フィールドのベストセラー小説の映画化。著者は物語中の人物ヘンリー・フィールドの姪に當る人物で、ヘンリーは主人公アンリエットと結婚したのであるから、これは伯母に關する實話を描いたものである。脚色は「アメリカ交響樂」「嵐の青春」「小麥は緑」の**ケイシー・ロビンスン**、臺辭監督には現在監督として活躍している**アーヴィング・ラパー**が當つた。監督は「うたかたの戀」「黄昏」「トヴァリッチ」を演出した歐洲出の**アナトール・リトヴァツク**、撮影監督は「ミルドレッド・ピアース」「サラトガ本線」の**アーニー・ハラー**。作曲は**マックス・スタイナー**である。

主演は「黒蘭の女」「青春の抗議」でアカデミー賞を二回獲得し、「情熱の航路」「ラインの監視」「小麥は緑」等で名演技を示している大女優**ベティ・デヴィス**と、「肉體と幻想」以來「永遠の處女」「再會」「ガス燈」等多くの主演映画が上演されている**シャルル・ボワイエ**である。助演には「金と女」「百万弗の赤ん坊」等に出演した**ジェフリー・リン**、「最後の抱擁」「風と共に去りぬ」の**バーバラ・オニール**を始め、多數の老練な傍役による豪華な配役を見せている。

ハル・B・ウォーリス製作にかゝる**一九四〇年度大作**。**十五巻**。

梗概

一八四九年、ニユー・ヨークのヘインズ女學院に、アンリエット・デルーズィ・デポルトと云う美しいフランス婦人が、フランス語の教師として赴任して來た。最初の授業時間に女學生達は、敵意さえみせて、彼女の過去の秘密を非難した。彼女は教師をしている事が不可能だと知つたので、校長のヘインズ女史に辭職を願い出た。

だが校長は、來合わせていた牧師のヘンリー・フィールドと共に彼女を慰め、勇氣をふるつて一切を打明けなさいと云つた。彼女は再び教室へ歸り、忘れることの出來ない悲しい過去を、冷い視線を浴びる生徒達に語り始めた。——

英國で働いていた家庭教師のアンリエットは、仕事が終つたので、フランスへ渡る連絡船へ乘つた。船上で彼女はヘンリー・フィールドと名乘る米國の牧師に話しかけられたが、船がル・アーヴルへ着くと共に、行きすがりの人として別れた。

彼女が次に働く家庭は、パリのプラスラン公爵邸だつた。彼女がその玄關に云つた時、雜役夫のピエール老が、「出來ることなら、こんなお邸へは住込まない方がいゝですよ」と謎めいた事を云つたが、彼女は何の氣もなくその言葉を聞き流した。初對面のプラスラン公は、やさしい男だつたが、公爵夫人は、とげとげしく神經質で、その眼は狂氣に近い只ならぬ光りを持つていた。彼女が教えるイザベル、ルイーズ、ベルトの三人の娘と末の男のレイノオはみな可愛い子供達だつた。

そして彼女の生活は始まつた。子供達は彼女を母のように慕つた。公爵は足繁く子供部屋を訪れては樂しい時を持つた。だが夫人は殆んど子供達の面倒をみなかつた。公爵夫妻の間は、他人以上に冷たく、口論の絶え間がないことが、アンリエットの立場に暗い影を投げた。

ある日夫人は、風邪ぎみのレイノオ少年を無理に馬車に乘せて外出したのが原因で、少年は肺炎になつた。アンリエットの獻身的な看護のお蔭で、少年は奇蹟的に回復した。公爵は彼女に深く感謝し、それ以後は暇さえあれば子供達と遊び「家庭的な幸福を始めて感じた」と感想を述べたりした。だが夫人は、夫が子供と家庭教師と共に遊ぶのを見るにつけ、アンリエットに夫が奪われるかの樣に思つて、彼女に辛く當つた。

夫人は子供等と共に、コルシカに住む實家の父の許へ遊びに行つた。その間に、歯の治療に一人歸つて來たルイーズとアンリエットを連れて、公爵は歌劇を見に行つたが、それが新聞に、公爵と彼女に醜い關係があるように書かれた。その記事を讀んだ夫人は、急いで父と共にコルシカから歸り、アンリエットを非難した。アンリエットは職を辭めようとしたが、

配役

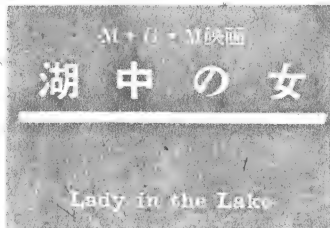
アンリエット・デルーズィ・デポルト……ベテイ・デヴイス
プラスラン公爵……シヤルル・ボワイエ
公爵夫人……バーバラ・オニール
ヘンリー・マーテイン・フィールド……ジエフリイ・リン
ルイーズ……ヴアージニア・ウイードラー
イザベル……ジユーン・ロツクハート
ベルト……アン・トツド
レイノオ……リチヤード・ニコラス
ルメエ……ヘレン・ウエストリー
パスキエ……ウオルター・ハムデン
ブルーセイ……ヘンリー・ダニエル
ピエール……ハリー・ダヴエンポート
シヤルパンテイエ……ジヨージ・クルーリス
セバステイアン……モンタギユ・ラヴ
ヘインズ女史……ジヤネツト・ビーチヤー
爵ギヤラール……リチヤード・ニコラス

だが自分の過去を追求されたら結婚はおじやんになると考えた彼女は一計を案じた。そして髪形を變えて、自分と瓜二つの架空の從妹になりすまし、彼女の身許の調査に來たジロオに、その姿を見せた後、忽ち蔭で變裝を直して現われ「あの從妹はロシアにいた困り者の女です」と告げた。だがジロオがその從妹に會いたいと云つたので、クレールは仕方なく、「今夜波止場のカフェへ行けば會えますわ」と云つた。

その夜クレールは再び僞の從妹に變裝してカフェに現われた。ジロオはゾロトフを證人に連れて同じくカフェへ行き、ゾロトフが「伯爵夫人に瓜二つだが、この女がロシアにいた女だ」と云つたので安心した。その後でジロオは來合わせていたロバートと共に、その從妹の後をつけて、クレールの家へ行つたが、ロバートのみは窓ごしに變裝をといているクレールの姿を見て、クレールが僞の從妹になりすましていた事實をつきとめた。

ジロオは、その從妹の様な身持の惡い女が許嫁の家にいるのは結婚に差支えると考えて、ロバートに、その女を誘拐して他の土地へ追いやれと命じた。ロバートは、クレールを呼び出し、無理に馬車に乘せて、港の自分の船へ連れて行つた。その翌日は、ジロオと彼女の結婚式だつたが、その夜二人は、互いに愛情を感じて船で夜を明した。翌朝、ジロオとクレールは、多數の參列者の前をしずしずと歩いて、敎會の祭壇の前に立つた。司祭が結婚の儀式を行つている時、クレールは參列者の間に、ロバートの顔を見つけた。彼の眼が花嫁衣裳のクレールの胸に波を起させた。彼女は、金よりも愛している男と一緒になろうと決心した。そして奥の手を使つて失神し、こつそりと敎會を抜け出した。ジロオ達は彼女を探したが無駄だつた。

ミシシッピ河を下るロバートの船から花嫁衣裳が投げ捨てられて、波の上に漂つていた。

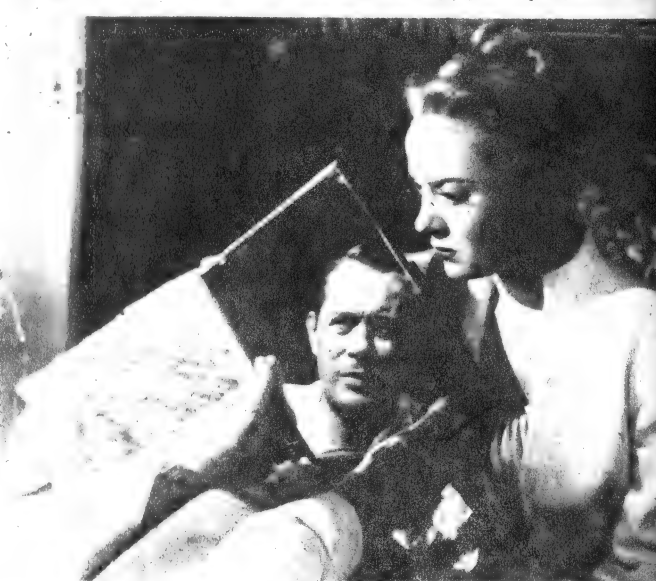
配役

フイリップ・マーロウ……ロバート・モンゴメリー
アドリエン・フロムセット……オードリイ・トツター
デガーモ警部……ロイド・ノーラン
ケーン警視……トム・タリー
ドレース・キングスビイ……レオン・エームス
ミルドレツド・ハーヴランド……ジエーン・メドウス
クリス・レーヴリイ……デイツク・シモンズ

解説

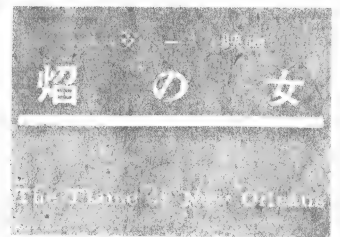
現代米國探偵作家として名聲の高い**レイモンド・チャンドラー**の小説の映画化である。彼の小説「さらば、戀人よ」は四四年度に映画化されているが、脚色家としても「倍額保險」「又明日の日も」「見えざるもの」等を手がけている。脚色は「ベルリン特派員」「トリポリの岸へ」の**スティーヴ・フィッシャー**、撮影監督は**ポール・C・ヴォーゲル**、作曲は**デーヴィッド・スネル**である。

監督は「幽靈紐育を歩く」の**ロバート・モンゴメリー**であるが、彼は俳優としても主演している。相手役の**オードリイ・トッター**はシカゴの舞臺を經て放送劇に出演、その後映画入りをし「夜の本町通り」「郵便屋は二度ベルを鳴らす」に出演した新人。二人を助けて「ブルックリン横町」「旋風大尉」の**ロイド・ノーラン**、「戀の十日間」「冒險」の**トム・タリー**、「スエズ」「郵便屋は二度ベルを鳴らす」の**レオン・エームス**、舞臺出身の新人で、ヘッパーン、テイラー主演の「暗流」に初出演した**ジェーン・メドウス**が活躍している。

この映画の特色は、既に本誌三月號で紹介した如く所謂第一人稱映画である點である。それは主人公である探偵マーロウ(モンゴメリー)の眼がカメラのレンズとなつている事を指す。從つて主人公の姿は、鏡の映像などを除いては画面に現われず、相手役が彼に話す時は、キャメラに話しかけるのであり、彼の顔を毆るのはカメラを毆ることになる。故に主人公の演技は、臺辭を除いてはカメラマンが擔當している譯である。異色ある**一九四七年度作品、十一卷**。

梗概

私立探偵フィリップ・マーロウは、自分の體驗を書いた原稿をキングスビイ出版社に送つたところ編集長のアドリエン・フロムセットから來社の通知を受けた。會つてみるとアドリエンは美しい女性で、彼に、社長ドレース・キングスビイの妻のクリスタルが行方不明だから探してくれと依賴した。クリスタルは、キングスビイの別荘があるフォーン湖で一月前に失踪したのだが、クリス・レーヴリイという男と駈落ちしたらしいとの事だつた。

マーロウは近くのベイ市にレーヴリイを訪れ、クリスタルの行方を聞いたがレーヴリイは知らぬと云い、その上マーロウを毆り倒した。翌朝マーロウが目覺めたのは、市の警察だつた。レーヴリイが彼を失神させてから自動車の中に放りこんだので、彼は醉拂い運轉の廉で留置されたのだ。警察でマーロウはケーン警視と意地の惡いデガーモ警部から調べられたが放免された。

マーロウがアドリエンに事情を話している時、フォーン湖の別荘番のビル・チェスがキングスビイ社長を訪ねて來て、彼の妻のミュリエル・チェスが湖の中で腐爛した死體となつて發見されたと報告した。アドリエンは、クリスタルがミュリエルを殺したのではないかとうたがい、マーロウに調査を依賴した。マーロウは湖へ行つた結果、ミュリエル・チェスの本名

新着映画紹介

焔の女

The Flame of New Orleans

配役

クレール・ルドオ……マレーネ・ディートリッヒ
ロバート・ラトウーア……ブルース・キャボット
ジロオ……ローランド・ヤング
ゾロトフ……ミッシャ・アウアー
一等水夫……アンディ・デヴァイン
二等水夫……フランク・ジェンクス
三等水夫……エディ・キラン
アンティ……ローラ・ホープ・クリュウ
ベロウス……フランクリン・パングボーン
クレメンテイン……テレサ・ハリス
サミュエル……クレアレシス・ミューズ
義弟……メリヴィル・クーパー

解説

「天使の花園」等のダービン映画や「百万人の音樂」を製作した**ジョー・パスターナック**の製作映画監督は「巴里の屋根の下」「自由を我等に」「ル・ミリオン」及び「幽靈西へ行く」等で有名なフランス映画界の鬼**ルネ・クレール**で、これは彼の渡米第一回作品である。脚本は「春を手さぐる」や四三年度のアカデミイ・オリジナル脚本賞を受けた**ノーマン・クラスナ**。撮影は「ヴァリエテ」「孔雀夫人」の、**ルドルフ・マテ**、音樂監督は**チヤールス・プレーヴィン**、作曲は**フランク・スキナー**である。

主演は「モロッコ」「天使」「スポイラース」「砂塵」でお馴染の**マレーネ・ディートリッヒ**、相手役は「キング・コング」「モヒカン族の最後」の**ブルース・キャボット**と「人生は四十二から」「運命の饗宴」等のコメディアンである**ローランド・ヤング**、これにしわがれ聲の愛嬌者**アンディ・デヴァイン**、**ミッシャ・アウアー**が配されている。

一八四一年頃の華かなニュー・オリーンズを舞臺に展開するユニヴァーサル**一九四一年度作品、八卷**。

梗概

巴里で良いカモを見つけられなくなつたクレール・ルドオは、伯爵夫人という振れこみで、遙々海を渡つてアメリカのフランス植民地ニュー・オリーンズへ來た。彼女は土地一番の金持の獨身男ジロオに眼をつけ、オペラの棧敷で氣絶したふりをして彼に介抱させて知り合いになつた。ジロオは美貌のクレールに忽ち夢中になり、贈物するやら宴會へ招待するやらして彼女の歡心を得ようとした。

クレールは、一方、ミシシッピ河を上下する船の船長ロバートと知り合い、彼と月見をする約束をしたが、その日ジロオが來て、彼女に求婚したので、ロバートとの約束を破つてしまつた。

ジロオが、クレールを主賓にして宴會を開いていた時、ゾロトフというロシア人が來て彼女をひと眼みるなりびつくりし、「セント・ピーターースバーグで評判の女だつたよ、あの女は……」と彼女の過去について意味ありげな口吻を洩した。ジロオは許婚を侮辱したと怒り、決闘を申込んだ。クレールは自分の正體を見破られては大變だと、再び奥の手を出して失神したふりをし、その急場を逃れた。

の一女性を描いた**マーガレット・ランドン**の傳記を原作とし、「北海の子」「人間エジソン」の**タルボット・ジエニングス**と「疑惑の影」の**サリー・ベンスン**が脚色した映畫。製作は「ブルックリン横丁」「ベンガルの槍騎兵」の**ルイズ・O・ライトン**。監督は「エイブ・リンカン」「青春の宿」古くは「ゼンダ城の虜」等を演出した堅實な技巧を持つ**ジヨン・クロムウエル**である。撮影監督は「王國の鍵」を擔當し且つ「バーナデットの唄」でアカデミー賞を受けた**アーサー・ミラー**で彼はこの映畫でも昨年度のアカデミー賞を獲得した。昨曲は**バーナード・ハーマン**である

家庭敎師の役には「最後の抱擁」「愛のアルバム」「再會」の**アイリーン・ダン**が扮し、相手役のシャム王には英國の名優**レックス・ハリスン**が扮した。彼は「城砦」「バーバラ少佐」「ロンドンの米國人」等の英國映畫に主演した人だが米國映畫出演はこれが最初である。その他に「ゾロの記號」「荒野の決闘」の**リンダ・ダーネル**、「クリスマスの休暇」のゲール・ソンダーガード、「感激の町」のリー・J・コッブ、「ベニーの勳章」のミカイル・ラズムニー、「若き頃」のリチャード・ライオン等が出演している。**一九四六年度作品十四卷。**

梗概

一八六二年、寡婦の英國婦人アンナ・オーウエンスは幼い息子のルイスを連れてバンコックについた。彼女はシャム宮廷の王妃達やその子供達の敎師に招聘されたのだ。彼女は王から家を與えられる約束を受けていたが、出迎えたクララホーム首相は彼女親子を王宮内に住わせることにした。國王は多忙と稱して數ケ月間彼女に會わなかつた。始めて引見される時、彼女はシャム流に王の面前へ膝頭で這つて行く樣に命ぜられたが、彼女は頑强に拒んだ。國王は昔ながらの尊大な面と、近代的な明るさとを持ち、アンナのユーモラスな話をも理解出來る人物だつた。

國王は、後宮にアンナを連れて行き、多數の妻妾やその子供達を紹介したが、その中には今は寵を失つたティアン夫人やその子であり次の王たるべきチュラロンコーンもいた。そして漸く學校を開く運びがついた。

アンナはある日、約束通り自分の家を與えてくれと申出たが、機嫌が悪かつた王は、彼女に漁師町の汚い小屋を彼女の住居として與えた。彼女は怒つたが、生徒達に「ホーム・スヰート・ホーム」の歌を何回も歌わせ、家というものがいかに大切かを國王に知らせた王はそれには折れて出たが、彼の横暴さや國の風習に惱まされた彼女は、歸國しようとした。しかし首相から、國王がシャムを近代化するために彼女を必要としているときかされて滯在することになつた。

ある夜乳飮兒を抱えて鎖にしばられている女を見た。それは寵妃タブティムの奴隷だつた。アンナは彼女にその奴隷を解放する樣に云つたが聞き入れないので國王に申出た。王はアンナの干渉を怒つたが彼女の説得をきゝいれて、タブティムに命じて奴隷を解放させた。

國王は次第にアンナを信任して外國使臣を西洋流の宴會でもてなすことを彼女に命じた。その會は國王の作法はずれもあつたがどうやら無事にすんだ。ある日寵妃のタブティムが逃げ出し、捕えられて火あぶりの刑を宣告された。ア

Studio News

☆**廿世紀フォックス社**

▽ヘンリー・ハザウエイ監督、コーネル・ワイルド、ペギー・カミンス主演で製作される豫定であつた「**黑薔薇**」は製作豫算五百萬弗を要する大作なので、現在收入が減少しつゝある情勢に鑑み、當分製作を延期するとダーリル・ザナックから發表された。

▽**ペギー・カミンス**、チャールス・コバーン、ロイド・ノーラン等はルイズ・キングの監督するテクニカラー映畫「**ワイオミングの綠草**」"Green Grass of Wyoming" に主演中。

▽**ジョーン・クローフォード、ダナ・アンドルウス、ヘンリー・フォンダ、ペギー・アン・ガーナー**主演、**オットー・プレミンガー**監督の「**デイジー・ケンヨン**」"Daisy Kenyon" が愈々開始された。

☆**ユナイテッド・アーチスツ社**

△メエリー・ピックフオード、バデイー・ロジャース、ラルフ・コーンの三人が創立したトライアングル・プロダクションの第一回作品「**眠れ、戀人よ**」"Sleep, My Love" がダグラス・サークの監督で開始された。**クローデット・コルベール**、ロバート・カミングス、ドン・アメチー、リタ・ジョンスンが主演している。

☆**ユニヴアーサル・インタナシヨナル社**

▽**シャルル・ボアイエ**は近くゾルタン・コルダの監督する「**死のコイル**」"The Mortal Coil" に主演する契約をした。これは英國の文豪アルダス・ハックスレイの原作である。

▽**イヴオンヌ・デカルロ**とダン・ダーイーとはジョージ・シャーマンの監督する「**黑いバートの冒險**」"Adventures of Black Bart" に主演中である。

▽紐育の劇作家**ジョージ・S・コーフマン**は近く**ウィリアム・ポーエル、エラ・レインズ**、ピーター・リンド・ヘイス、アーリン・ホイーラン主演の「**上院議員は無分別**」"The Senator Was Indiscreet" を監督する事になつた。ナナリー・ジョンスンがプロデューサーである。

▽**クローデット・コルベール**はクロード・ビンヨンが近く監督する「**深夜のレース**」"Midnight Lace" に主演する契約をした。

▽前號で報道したマーク・ヘリンジャー作品「殺人」"Homicide" は「**裸の町**」"The Naked City" と改題され、紐育で撮影が開始された。バリー・フイッツヂエラードの他にホワード・ダフ、ドロシー・ハート、ドン・テイラーが出演している。

☆**ウォーナー・ブラザース社**

▽スエーデンのスター、**ヴィヴェカ・リンドフォース**は、近くデルマー・デイヴスの監督する「**勝利者へ**」"To the Victor" に主演する。巴里とノルマンデイーにロケイションして撮影される筈で、對手役は「戀愛手帖」のデニス・モーガンと決定した。

▽エディー・キャンターの一代記をウオーナーが映畫化する權利を獲得し、脚本の準備が始められた。

▽**アン・シェリダン**は、近くヴインセント・シャーマンの監督する「**恥ずべき女**」"Scandalous" に主演する。彼女は同じ監督で最近「**不貞な女**」"Unfaithful" を作つている。

がミルドレッド・ハーヴランドであること、彼女は「クリスよりミルドレッドへ」と彫刻された踝飾りを持つていたこと、以前ミルドレッドとクリスタルが、クリス・レーヴリイの愛を得ようと爭つた事、更にある警官がミルドレッドを少し前に探していたことを知つた。

彼はレーヴリイが事件に深く關係していたことを知り、再び彼の家を訪れた時、家主と稱する若い女に會つた。彼女は手にピストルを持つていたが、階段に落ちていたのだと語つた。彼女が去つた後、マーロウは、浴室で射殺されているレーヴリイの死體を發見した。

マーロウがアドリエンにレーヴリイが殺された事を報告している時キングスビイ社長が入つて來て、アドリエンが私立探偵を雇つて妻を探させていた事を知つて怒つた。そして愛する妻が安全であるように取計つてくれと、却つてマーロウを雇つた。マーロウはベイ市へ赴き、警察へレーヴリイの死を報告したが、それが遲いと叱られた。マーロウはデガーモ警部に「君は殺人事件に關係しているしミルドレッド・ハーヴランドという女を知つているだろう？」と云うと、デガーモも突然怒つてマーロウを毆つたので、彼は自分の推測が當つたのを感じた。

彼は更に調査の結果、フローレンス・アルモアというある醫者の妻が、數年前に死に、その醫者に使われていたミルドレッド・ハーヴランドという女が殺人の嫌疑で捕つたが、デガーモという警部の爲に放免された事實を探つて、愈々デガーモへの疑いを濃くした。彼はその醫者の妻の實家を訪れ、事情をきこうとしたが、兩親は口を閉じて答えない。マーロウは彼等がデガーモに口止めされている事を知つた。その歸りに彼の自動車は後から來た自動車に衝突され、マーロウは意識を失いかけた。だが彼は衝突させたのはデガーモである事を認めた。彼は痛む身體で這いながら自動電話に辿りつき、アドリエンを呼び出して迎えに來てくれる様に賴んだ。アドリエンの部屋で、看護を受けた彼は、彼女への愛情を告白した。彼女も亦彼を愛していた。その時、マーロウを探していたキングスビイ社長が訪れて來て、妻のクリスタルから電話がかゝり、金を持つて會いに來てくれと云つて來たと告げた。そして自分は警官に後をつけられているし、妻を警官に渡したくないから金はマーロウに屆けて貰いたいと賴んだ。

マーロウは、止めるアドリエンをしりぞけ、万一の場合自分の居所が判る様に米粒を撒いておくから、警官と共に後をつけてくれと手筈を整えて、クリスタルの指定の場所へ行つた。彼はクリスタルとおぼしい女に會い、金は彼女の家で渡すと云つて案內させた。だがその部屋で初めて顏を現わしたその女は、クリスタルではなくて、殺されたレーヴリイの女家主と稱する女だつた。とつさに彼は、彼女こそ湖の中で死んだと思われているミュリエル・チェスことミルドレッド・ハーヴランドだと感じ、醫者の妻を殺したのも、クリスタルを湖の中で殺したのも、更にレーヴリイを殺したのもお前だろうと詰問した。秘密をさとられたその女はピストルを彼に向けて、クリスタルを殺して自分の着物を着せて湖へ捨てたのは自分だ、又、その事實を知つていたレーヴリイを殺したのも自分だと告白した後、マーロウを殺そうとした。だが隙をうかがつて彼は女の手からピストルを奪つた。

その時、デガーモが入つて來て、マーロウを毆つてピストルを取り上げてから、ミルドレッドを殺そうとした。彼は、ミルドレッドを愛していたので、醫者の妻殺しの時も彼女を救つてやつたにも拘らず、彼から逃げて、別莊番のビル・チェスと結婚してミュリエルと名乘つて隱れていた事を恨んでいたのだ。デガーモは、哀願するミルドレッドを射殺し更に秘密を知つている唯一の男マーロウを殺そうとした時、米粒の後を辿つて來たケーン警視とその一隊が到着して、却つてデガーモは殺された。

かくて湖中の女事件は解決し、マーロウとアドリエンはニュー・ヨークで新家庭を營もうと出發した。

配役

アンオ・オーウエンス……アイリーン・ダン
シヤム王……レツクス・ハリスン
タプテイム……リンダ・ダーネル
タラホーム……リー・J・コツプ
テイアン夫人……ゲール・ソンダーガード
アラク……ミカエル・ラズムニ
エドワード卿……デニス・ホーイー
王子チユラロンコーン……テイト・レナルド
ルイス・オーウエンス……リチヤード・ライオン
モーンシー……ウイリアム・エドモンド
フイヤ・フロム……ジヨン・アボツト
通譯……レオナード・ストロング
王子（少年時代）……ミツキー・ロス
ビーブ……コニー・レオン
王女フア・イン……ダイアナ・ヴアン・デン・エツカー
舞踏教師……シーラン・チエン

解說

シヤム王宅の教師となつた英國

らも洋服を貰つた。ガウ老人は少年に「お前は男だから自分の思い通りにしろ」と云つて、緑の洋服を燒いた。そこでロバートは、まず曾祖母に、一緒に寢ないし、カトリック教會へ行くと宣言した。やがて少年は正式なカトリック教徒になつた。

九年の歳月がたつた。ロバートは中學を卒業する時、校長のジェーソン・リード先生から科學賞のメダルを貰い將來醫者になれと云われた。親友のギヤヴインは歴史賞を、幼馴染でロバートが愛している娘アリソン・キースは音樂賞を貰つた。卒業式の歸途、ロバートは、悲しげに醫學を勉強する爲に大學へ行けない、とアリソンに告げた。何故ならレッキーは、ロバートを町のボイラー工場で働かせて給金を家に入れさせようとしたからだつた。その夜橋の上で、ロバートはアリソンに接吻したが、勞働者になる身で彼女と結婚する事は出來ないと思つた。

リード校長は、ロバートが工場で働いている事を知り、彼の才能を惜む余り、百年前から行われているマーシャル奬學金の試験を受けさせようと思つた。ロバートがそれに合格すれば、年百磅を貰つて四年間大學で醫學が學べるのだ。だが祖父のレッキーはそれに反對して願書に署名する事を拒んだ曾祖父のガウ老人はロバートの將來を考え、獨斷でレッキーの代りに願書に署名した。レッキー夫妻がロンドンの息子アダムの所へ行つてる間、ロバートはリード先生の指導の下に熱心に受驗準備をした。校長は彼が合格する事を確信した。だが試驗最中にロバートは肺炎にかゝり、試驗を終ることが出來ず、惜しくも二番の成績で及第しなかつた。

ロバートは落膽した。その上親友のギヤヴインが汽車に轢き殺され、又愛してくれた祖母が死んだので、彼は神の存在に疑いを持ち信仰心を失つてしまつた。この頃戀人のアリソンは、他の町へ聲樂の勉強に行つてしまい、失意のロバートは又工場へ歸つた。

ある日一同が食事している時、息子のマードックがガウ老人の帽子を持つて來て、池に浮いていたから死んだのだろうと云つた。ロバートは悲しかつたが、レッキーは老人の保險金が貰えると喜んだ。だがやがてガウ老人は巡査に連れられて歸つて來た。老人は酒に醉い崩れ警察に厄介になつていたのだ。醫者は老人に酒を禁じたが、彼は秘かにウイスキーを手に入れて飲んだ。又外出も止められていたが、草花の品評會の當日はスコットランド服を着て出かけ、こつそり酒を飲んだ擧句、力試しをしたのがもとで、心臟麻痺のため、ロバート達に見守られて死んでしまつた。

やがてガウ老人の遺言狀が讀まれたが、レッキーにとつて、意外であり殘念なことに、保險金は全部ロバートに讓られた。この金で

Studio News

☆コロンビア社

▽「コロラドから來た男」を完成したグレン・フオードは、近くイヴリン・キースを對手として「**ミリー・マッゴナイグルの結婚**」"The Mating of Millie McGonigle" に主演する。監督は「コロラドから來た男」と同じヘンリー・レヴインで、ケイシー・ロビンスンがプロデューサーである。

▽**アレキサンダー・ノックス**、スーザン・ピーターース、ドリス・ロイド(英國の舞臺女優)とはジョン・スタージエスの監督する「**白羊宮**」"The Sign of the Ram" に近く主演する。原作はマーガレット・フアーガスン原作のベスト・セラーである。

☆イーグル・ライオン社

▽「ベニーの勳章」に出演した**アーチュロ・デコルドヴァ**はルシル・ブレマー、ノリーン・ナッシュ、ターハン・ベイ等を對手としてロベルト・ギャヴアルドンの監督する「**カサノヴァの冒險**」"Adventures of Casanova" に主演中。

▽**ジェームズ・クレイグ**、リン・バーリ、ユーナ・マーケル等はリイ・ジエイスンの監督する「**テキサスの物語**」"A Texas Story" に出演中である。

▽**ジョーン・レスリー**は近くジエームズ・クレイグを對手としてシネカラーで撮影される「**潰走**」"Stampede" に主演する。

☆MGM社

▽前號に報道した**ミッキー・ルーニー**主演の「**キラー・マッコーイ**」の對手役は、エリザベス・テイラーからアン・ブライスに變更された。アンは「ミルドレッド・ピアース」で認められ、最近UI社の「野獸の力」に主演した新進女優である。

▽**ロバート・テイラー**主演の「**高い壁**」にはハーバート・マーシャルと H. B. ウオーナーが役割に加えられ、**カーティス・ベルンハルト**の監督で製作が開始された。

☆パラマウント社

▽**エドワード・G・ロビンスン**はジョン・フアロウの監督する心理劇「**夜には千の眼がある**」"Night Has a Thousand Eyes" に主演する契約をした。ジョン・ランドとゲイル・ラッセルが助演する筈である。

☆RKO社

▽**ジョニー・ワイズミュラー**主演のソル・レッサー作品「**ターザンと人魚**」"Tarzan and the Mermaids" はロバート・フローレイの監督でメキシコ市にロケーションして開始された。ブレンダ・ジョイスが共演している。

▽サミュエル・ゴールドウイン映画「**それが人生だ**」"That's Life" がダニー・ケイ、ヴアージニア・メイオ、ベニー・グッドマン、ルイズ・アームストロング、トミー・ドーセイ等の主演、**ハワード・ホークス**の監督で開始された。テクニカラー映画で、ダニー・ケイの五本目の作品である。

▽既報ジョージ・ステイーヴンス監督の「**私はママを憶えてる**」"I Remember Mama" も開始された。**アイリーン・ダン**、バーバラ・ベル・ゴッデス、オスカー・ホモルカ、フイリップ・ドーン、セドリック・ハードウイックが主演している。ジョン・ヴアン・ドルーテン原作の舞臺劇の映画化である。

ンナはその助命を歎願したが容れられなかつたばかりか、國王は自分が法律以上の權限を持つている事を示すために、處刑に立會えと命じた。彼女は父シャムを立去ろうと準備している時、彼女の息子のルイスが怪我をして死んでしまつた。それを憐んだ國王は、王族と同じ待遇で國中が一日の喪に服することを宣言した。

苦しい數年が過ぎた。アンナは王子チュラロンコーンに望みを托して教育に從事した。國王は急病で逝去したが、その直前に枕頭に彼女を呼んでその盡力を感謝した。王子は即位した。彼はシャムを近代化する第一歩として封建的な制度の撤癈を宣言した。アンナの長い間待ち望んでいた事が實現した事を知つた時、彼女の眼には涙が光つていた。

M・G・M映画

育ちゆく年

The Green Years

配役

アレキサンダー・ガウ……**チャールス・コバーン**
ロバート・シャノン……**トム・ドレーク**
同少年時代……ディーン・ストックウェル
アリソン・キース……**ビヴアリー・タイラー**
同少女時代……アイリーン・ジャンセン
レツキー……ヒューム・クローニン
曾祖母レツキー……グラデイス・クーパー
祖母レツキー……セリーナ・ロイル
ケート・レツキー……ジエシカ・タンデイ
ジエーソン・リード……リチャード・ヘイドン
アダム・レツキー……ノーマン・ロイド
ボーグ……アンデイ・クライド
マードツク・レツキー……ロバート・ノース
ジエミー・ニツグ……ウオーレス・フオード
ギヤヴイン・ブレア……ハンク・ダニエルス
同少年時代……ザチヤード・ライオン
ロシユ司祭……ヘンリー・オニール
ブレークリイ……ヘンリー・ステイーヴンスン
ボズムリー夫人……ノーマ・ヴアードン

解説

「城砦」「王國の鍵」等の原作者である英國の作家**A・J・クローニン**（一八九六――）のベスト・セラー小説によるもので、「ピストルと音樂」「パーキントン夫人」の製作者**レオン・ゴードン**が製作した。脚色は**ソニヤ・レヴイエン**と**ロバート・アードリー**。監督は永く英國映画界で働き一九三九年に渡米した**ヴイクター・サヴイル**で「茶碗の中の嵐」「間諜」近くは「今宵もいつの夜も」等の作品がある。撮影監督は「巨星ジーグフェルド」「豪華一代娘」「ドーヴアーの白い崖」の**ジヨージ・フオルセイ**。作曲は**ハーバート・ストツサート**である。

演技陣には「嵐の青春」「アメリカ交響樂」「再會」「永遠の處女」等の名優**チヤールズ・コバーン**、舞臺出の新人で「二人娘に水兵一人」「パーキントン夫人」「セント・ルイスで私に會つて」等に出演し明日のスターと目される**トム・ドレーク**、スクラントンの聖歌隊の獨唱者で、これが映画初出演の**ビヴアリー・タイラー**が主演しているが、助演者には「疑惑の影」に出ていた性格俳優として一流のヒューム・クローニン、グラデイス・クーパー等が見事な演技を示している。

スコツトランドを舞臺に語られるクローニン一流の暖い物語で、美しい撮影効果を持つ**十三巻**。**一九四六年度の作品**である。

梗概

兩親に死に別れた七歳の孤兒ロバート・シャノンは、母方の實家であるレツキー家を頼つて愛蘭土からスコツトランドのローガンフオードへ船で來た。波止場に出迎えた祖母に連れられて、少年は始めて母の實家へついた。

ロバートの母は、若い頃愛蘭土の男と親の反對をおしきつて結婚したのだが、祖父はその娘を憎んでいたし、ロバートには一文の金もなく、その上レツキー家と違つて少年は舊教徒だつたので、孫のロバートを迎えることは氣に喰わなかつた。彼は暮しはそう貧しくはなかつたが吝嗇で、まずロバートの爲にかゝる費用の事で愚痴をこぼした。だが彼の妻は、娘であるロバートの母が好きだつたので少年を可愛がつてくれたし、その娘のケートや息子のマードツクも少年には好意を寄せてくれる樣だつた。

少年は祖母の父親に當る曾祖父のアレキサンダー・ガウ老人と同じ寢臺で眠ることになり、二人は忽ち仲が良くなつた。當主のレツキーはガウ老人を厭々家においていたが、それは老人の保險金を受取る日當があつたからだ。やがて他所へ行つていたレツキーの母が歸つて來て、のんだくれのガウ老人にロバートは任せておけぬと自分の部屋へ少年を引きとつた。そして少年が學校へ入る時、綠色の花模樣のスカートを直して、少年の服を作つた。ロバートは厭々ながらその奇妙な服を着て學校へ行つたが、忽ち生徒からいじめられた。そこでガウ老人は、飲み友達と一緒に少年に拳闘を教えて、生徒のギヤヴインと喧嘩させた。ロバートは負けたが喧嘩が濟むとギヤヴインと仲良しになり、彼か

ロバートは大學へ行つたが、その校門には戀人のアリソンが彼を迎えていた。

パラマウント映画

初戀時代

Miss Susie Slagle's

配役

パグ・プレンティス……ソニイ・タフツ
グレット・ハウ……ジョーン・コールフィールド
ナン・ロジャース……ヴェロニカ・レーク
スージイ・スレーグル……リリアン・ギッシュ
ベン・ミード……ビリイ・デ・ウオルフ
エライジャ・ハウ博士……レイ・コリンズ
フエーバー博士……モリス・カーノフスキー
バート・リッグス……パット・フエーラン
クレイトン……レニイ・マツケヴオーイ

解説

オーガスタ・タッカーの原作を**アン・フローリック**と「南部の人」（潤色）「人間エヂソン」の**ヒューゴー・バトラー**が脚色。舞台監督であつた**ジョン・ベリー**の第一回監督作品。撮影監督は**チャールズ・ラング二世**、作曲は「迷へる天使」「戀の十日間」の**ダニエル・アンフィセアトロフ**。

主演は人氣新人であり此れが日本最初の紹介となる**ソニイ・タフツ**、舞台より映画へ移つての第一回出演たる**ジョーン・コーフィールド**。「空の要塞」の**ヴェロニカ・レーク**、舞台時代にグリフヰス監督の下で名聲のあつた**リリアン・ギッシュ**等が顔を揃へた一九四五年度作品、九巻。

梗概

東部のある町に住んでいたスージイ・スレーグルは兩親の死後、その大きな屋敷を、當時その町に設立された醫學校の學生のための下宿に解放した。そして一九一〇年頃には此の下宿も此處から巣立ち今は一流の醫者として活躍している人人を數へるまでになつていた。そして新入生が昔に變らず親切なスージイの笑顔に迎えられている。

パグ、バート、クレイトン、サイラス、アーヴィング達も此の下宿から學生生活を開始した。パグは同級生のエライジャと呼ぶ醫師長ハウ博士の息子の妹グレットに一目で愛されてクリスマス舞踊會の日に「妾は斷然貴方の奥さんになるワ」と宣言され吃驚したが彼は彼女の勇敢さを愛した。バートはナンと云ふ看護婦見習生を戀人に持つていた。醫學生のパグが實は手術室を恐れたり、エライジャが父と口論して家出したりした時、スージイは何時も母親のように彼等をさとし勵まし善導した。彼等が三年に進級した時、先輩のベンは、優秀な成績で卒業し、母校に勤務することとなつた。彼は故郷に戀人があつたが、その喜びを傳えるために電話をかけた時、彼女が他の男と結婚した事を知つてやけ氣味となつてしまつたが、その時もスージイは優しく彼を慰め勇氣づけたのであつた。バートがジフテリアにかゝり重態となつた。ナンがその看護に當り、パグが彼をみることになつたが死の近かづく重態の有様に恐怖を感じたパグは病室を逃げ出し、その後でバートは死んだ。この責任に苦しんだパグは醫業を捨てんとしたがスージイに勵まされ妊婦の困難な手術に身をもつて當り、その手術に成功した。

一同は困難な學業を卒えて、スージイに別れを告げる日が訪れた。パグは今はグレットと結婚しようと決心して迎えにきた彼女を抱いた、その時、新入の學生がスージイの學生を訪れていた。

★

本誌の購讀についての御注意

本誌はなるべく近所の書店に豫約してお求め下さい。特に書店に不便の方は直接購讀を受付けます。**半年分一〇〇圓一年分二〇〇圓**（概算）必ず小爲替で御送金下さい。★御註文の際住所氏名は楷書で府縣別までハッキリお書き下さい★御註文の雑誌名、何月號よりを御明記下さい。★住所變更の際は舊住所もお書き下さい★本社直接一部賣の御註文はお斷り致します★本誌は定價をゴム印などにより訂正することはありません。

本誌主催

アメリカ映画スチル展について

本誌はアメリカ映画普及のため各地においてアメリカ映画スチル展を開催してきましたが、最近東京では慶應大學、淺草並びに丸ビルの兩森永賣店でスチル展を開いて大變好評を博しています。尚9月17日から開かれるアメリカ映画祭に因んで次ぎのスチル展を銀座で開くことになつています。今後は出來るだけ各地でスチル展を開きたいと思つています。若し御希望の方がありましたら喜んで御相談に應じたいと思つています。

EDITOR'S NOTE

☆全國民待望の貿易がいよいよ再開されて生日本の榮譽を擔つた色々な物資が見返り品として海外に送り出されることになつた。この内には19種類の雑誌も含まれているが、本誌も本邦唯一の映画雑誌としてこの貴い役目を果すことになつた。讀者諸兄姉にも心から喜んで頂きたいし、私達もこの光榮を擔つて、今後尚一層内容を充實させて行く心算である。

☆ 21頁の社告にもあるように、思い切つて8月號を休刊した。日頃私達の堅持している編集良心から敢えてこの擧に出た次第何卒御了承願いたい。皆樣とお馴染みの淀川長治君が本社に入社したということは大きな喜びだ。更に同君の入社を機會に「映画之友・友の會」の組織を更　し、今後活潑な行動を起す企画をたてゝいる。次號における社告を御期待願いたい。（大黑）

アメリカ映画専門紹介誌
映画之友 9月號　第15巻・第8號　通巻・第175號
昭和21年7月30日　第三種郵便物認可
昭和22年9月1日　印刷納本
昭和22年9月5日　發行
發行者　橘　弘一郎
編集者　大黑東洋士
印刷者　小坂孟
印刷所　大日本印刷株式會社
配給元　日本出版配給株式會社
東京都千代田區永田町2の1
發行所　株式會社 映画世界社　電銀座5055
直接購讀は半年分100圓　1年分200圓（概算）小爲替で御送金下さい　本號1部 金18圓（送料50錢）
★
編集部への通信及連絡は下記へ
東京都千代田區有樂町1の7　糖業會館5階
映画世界社 集部　電話丸ノ内(33)3351—9

"PRINTED IN OCCUPIED JAPAN"

昭和二十一年七月三十日第三種郵便物認可　昭和二十二年九月一日印刷納本　昭和二十二年九月五日發行　毎月一回一日發行　第十五卷　第八號　通卷第百七十五號

本號一部金十八圓(送料五十錢)

Magazine for American Movies "Eiga no Tomo" (Friend of Movies) Published Monthly by Eiga Sekaisha Ltd., One Copy 18 Yen